

平成 30 年度

社会福祉法人 猪苗代福祉会  
事業報告書

社会福祉法人 猪苗代福祉会

- 特別養護老人ホーム いなわしろホーム（広域型）
- 地域密着型特別養護老人ホーム いなわしろホーム（ユニット型）
- いなわしろホーム 指定短期入所生活介護事業（広域型・ユニット型）  
指定介護予防短期入所生活介護事業
- いなわしろホーム デイサービスセンター指定通所介護事業  
介護予防・日常生活支援通総合事業
- いなわしろホーム 指定訪問入浴介護事業  
指定介護予防訪問入浴介護事業
- いなわしろホーム 指定居宅介護支援事業
- 障害福祉サービス事業 ・身体障害者（短期入所）・身体障害者（生活介護）
- 猪苗代町よりの受託事業
  - ・訪問入浴サービス事業

〒969-2661 福島県耶麻郡猪苗代町大字三郷字寺南 7962 番地 1

TEL. 0242-66-4123（代）

FAX. 0242-66-4027

TEL. 0242-66-4124（デイサービスセンター、訪問入浴介護事業所）

TEL. 0242-66-4125（居宅介護支援事業所）

FAX. 0242-66-4126（居宅介護支援事業所）

# 内容

I	平成 30 年度社会福祉法人猪苗代福社会事業報告 .....	3
II	総務課事業報告 .....	5
III	第一事業課事業報告書 .....	21
	i 生活支援領域 .....	24
	ii 健康支援領域 .....	36
IV	第二事業課事業報告書 .....	46
	ii 居宅介護支援領域 .....	53
V	委員会報告 .....	57

## I 平成 30 年度社会福祉法人猪苗代福祉会事業報告

### 1. 理事会開催状況

第 1 回理事会	平成 30 年 5 月 30 日
第 2 回理事会	平成 30 年 7 月 9 日
第 3 回理事会	平成 30 年 7 月 27 日
第 4 回理事会	平成 30 年 9 月 25 日
第 5 回理事会	平成 30 年 11 月 22 日
第 6 回理事会	平成 31 年 3 月 19 日

### 2. 評議員会開催状況

第 1 回定時評議員会	平成 30 年 6 月 23 日
第 2 回評議員会	平成 30 年 8 月 6 日
第 3 回評議員会	平成 30 年 10 月 5 日
第 4 回評議員会	平成 30 年 12 月 3 日
第 5 回評議員会	平成 31 年 3 月 29 日

### 3. 法人監事監査実施

[期日] 平成 30 年 5 月 22 日

八子宗平監事並びに由井忠幸監事により実施

[期日] 平成 30 年 11 月 12 日

八子宗平監事により実施

渡辺公認会計士立会

### 4. 評議員選任・解任委員会

平成 31 年 3 月 25 日

### 5. 地域密着型特別養護老人ホームいなわしろホーム運営推進会議開催状況

- ① 平成 30 年 4 月 24 日
- ② 平成 30 年 7 月 11 日
- ③ 平成 30 年 9 月 12 日
- ④ 平成 30 年 11 月 14 日
- ⑤ 平成 31 年 1 月 16 日
- ⑥ 平成 31 年 3 月 13 日

### 6. 入所検討委員会開催状況

- 第 1 回 平成 30 年 5 月 23 日
- 第 2 回 平成 30 年 7 月 23 日
- 第 3 回 平成 29 年 9 月 19 日
- 第 4 回 平成 30 年 11 月 21 日
- 第 5 回 平成 31 年 1 月 21 日

第6回 平成31年3月22日

7. 入札

- ① 平成30年5月22日一般競争
- ② 平成30年6月28日 企画競争
- ③ 平成30年11月15日一般競争

8. 運営協議会委員との意見交換 地域ふれあい事業について

- ① 平成30年6月28日
- ② 平成30年8月20日
- ③ 平成30年10月31日

9. 高濃度PCB仕様製品調査

平成30年5月7日 福島県会津地方振興局 県民環境部環境課 2名

10. 健康増進法による現地調査

受動喫煙屋外喫煙所の確認

平成30年10月22日 福島労働局健康安全課 1名

11. 猪苗代消防署立ち入り検査

平成31年3月8日 特に指導なし

12. 苦情解決委員会 定期報告

平成31年3月1日

第3者委員 2名

介護労働安定センター福島支所アドバイザー補助事業 外部講師

13. 社会福祉法人経営労務管理改善事業

平成30年福島県補助事業 新人事制度構築プロジェクトによる  
辻・本郷 社会保険労務士法人と契約 7月より月1回開催

14. 支援金支給交付式及び座談会

平成30年12月7日

福島県福祉・介護人材育成・確保支援補助事業

対象者 2名

15. 地域密着型特別養護老人ホーム（ユニット型）への転換

平成30年4月1日

16. 障害福祉サービス（デイサービス）の開始

平成30年10月1日

## Ⅱ 総務課事業報告

### 一 ケアを高める事業

担当班	ケア班	担当事業	ケアを高める事業
課長	一ノ瀬慶子	主任	
主担当者	鈴木香	副担当者	鈴木美緒
報告書作成者	鈴木香	作成日	平成31年3月31日

#### ■事業報告または計画の進捗状況

##### 1. ユニットケアの推進

○：報告 △：計画	○	実施。
①事業名	ユニットケア実施施設の見学研修会における事前勉強会	
②事業目的	ユニットケアとは何か基本的な事を勉強する	
③実施日時	平成30年8月23日、24日 15:00～16:00 10月3日、5日 16:00～17:00	
④実施場所・会場	あじさい棟・面会室	
⑤事業内容	ユニットリーダー研修講義の伝達 ・従来型とユニット型との違い ・ユニットケアの理念と根拠 ・ユニットケアの方法 ・24Hシートの活用	
⑥実施プログラム	講義	
⑦参加人数	11名	
⑧事業目的の達成点	見学後、自施設でできるユニットケアを各々考える事ができた。	
⑨事業目的の未達成点	考える事はできたが、実際に実行までの計画がなかった。	
⑩実施上の問題点	どう実行するかまで計画できれば良かった。	
⑪次回への引継ぎ事項	見学してきて、自分で実現可能だと思った事を記録し、ユニットで達成までの計画をする。	

##### 2. ターミナルケアの充実

○：報告 △：計画	○	
①事業名	看取りケアの振り返り	
②事業目的	看取りケアを各職種ごとに振り返り次のケアへ生かす	
③実施日時	平成30年9月30日、10月15日、12月18日 平成31年1月15日、3月6日、3月12日	
④実施場所・会場	会議室	
⑤事業内容	前月に行った看取りケアに関して各領域毎に話有ってもらった事を意見交換し、次のケアへ生かしていく。	
⑥実施プログラム	-	
⑦参加人数	各回5名	

⑧事業目的の達成点	職種ごとのアプローチの仕方が違うので、お互いにどんなアプローチをしているのか、今のケアに満足している部分と、課題である部分をお互いに話し合った。
⑨事業目的の未達成点	その場での意見交換となっている。記録に残し、各領域に持ち帰り、周知しなくてはならない。
⑩実施上の問題点	
⑪次回への引継ぎ事項	各領域で伝達をし、ケアに生かす。

■その他  
特になし。

#### ■主担当者所見

○ユニットケアを推進するために見学研修を段取りしていたので、事前勉強会を行った。  
H30年3月に勉強会を行っていたが浸透していない事がわかった。何がユニットケアなのか、基本的な事の理解を踏まえ従来型の思考を変える必要がある。今後も定期的に勉強会が必要である。24Hシートがまだ活用されていない現状があるので、24Hシートの必要性も理解が必要。

○ターミナルケアでは本人、家族の思いに寄り添うケアができていないのか、各職種ごとに思いがあり、どうケアしていったか、するべきだったかをお互いに話す事で他の職種の思いや課題がみえてきた。家族に付き添いをお願いするも家族もどう対応するべきかわからないと思うので、何か家族向けにアドバイスできたら良いとの意見も得られた。今後の課題である。

## 二 建設的で前向きな職場風土を育む事業

担 当 班	職場風土班	担 当 事 業	建設的で前向きな職場風土を育む事業
課 長	一ノ瀬慶子	主 任	宮澤重嗣
主 担 当 者	宮澤主任	副 担 当 者	小林早苗
報告書作成者	宮澤重嗣	作 成 日	平成31年4月1日

#### ■事業報告または計画の進捗状況

##### 1. 職員会

○：報告 △：計画	○
①事業名	7月職員会「新人事制度導入説明会」
②事業目的	やりがいを持って気持ち良く働ける職場環境を創る。建設的で前向きな職場風土を育み、ケアの質を高めるとともに、人材の育成・定着・確保に繋げ、世代交代を飛躍の機会とする。
③実施日時	平成30年 7月25日13：00～13：30 全体説明会 平成30年 7月25日16：00～16：30 平成30年 8月21日17：15～17：45

④実施場所・会場	社会福祉法人猪苗代福祉会@家族介護者教室
⑤事業内容	やりがいを持って気持ち良く働ける職場環境を創る
⑥実施プログラム	新人事制度の導入の経緯と概要、キャリアパスの見直し、プロジェクトメンバー募集。
⑦参加人数	職員 39名
⑧事業目的の達成点	—
⑨事業目的の未達成点	—
⑩実施上の問題点	—
⑪次回への引継ぎ事項	—

## 2. 新人事制度構築プロジェクト

開催日	要点
H30.5.21	ケア向上委員会、研修委員会、苦情解決委員会、未来プラン委員会と連携して事業実施を図る。
6.25	辻・本郷社会保険労務士法人のコンサルティングを受けながらキャリアパス制度の機能化(人事考課・給与制度との連携)を図る。 7/25 職員説明会開催予定。
7.30	辻・本郷社会保険労務士法人のコンサルティングを受けながらキャリアパス制度の機能化(人事考課・給与制度との連携)を図る。8/30 職員説明会開催予定。8/30 第2回会議第を開催予定。
8.30	辻・本郷社会保険労務士法人のコンサルティングを受けながらキャリアパス制度の機能化(人事考課・給与制度との連携)を図る。8/30 職員説明会開催予定。9/26 第3回会議を開催予定。
9.26	第3回会議を開催。 辻・本郷社会保険労務士法人のコンサルティングを受けながらキャリアパス制度の機能化(人事考課・給与制度との連携)を図る。
10.31	第4回会議を開催。 辻・本郷社会保険労務士法人のコンサルティングを受けながらキャリアパス制度の機能化(人事考課・給与制度との連携)を図る。
11.29	第5回会議を開催。 辻・本郷社会保険労務士法人のコンサルティングを受けながらキャリアパス制度の機能化(人事考課・給与制度との連携)を図る。
12.21	第6回会議を開催。 辻・本郷社会保険労務士法人のコンサルティングを受けながらキャリアパス制度の機能化(人事考課・給与制度との連携)を図る。
H31.1.25	第7回会議を開催。 辻・本郷社会保険労務士法人のコンサルティングを受けながらキャリアパス制度の機能化(人事考課・給与制度との連携)を図る。
2.28	第8回会議を開催。 辻・本郷社会保険労務士法人のコンサルティングを受けながらキャリア

	パス制度の機能化(人事考課・給与制度との連携)を図る。
3. 28	第9回会議を開催。 辻・本郷社会保険労務士法人のコンサルティングを受けながらキャリアパス制度の機能化(人事考課・給与制度との連携)を図る。

### ■主担当者所見

田中社労士と宮澤氏のファシリテーションのコンサルティングのもと新人事制度構築を進めていく。

## 三 地域福祉を増進する事業

担当班	地域福祉班	担当事業	地域福祉を増進する事業
課長	一ノ瀬慶子	リーダー	鈴木香
主担当者	鈴木美緒	副担当者	小林早苗
報告書作成者	鈴木美緒	作成日	平成30年10月17日

### ■事業報告または計画の進捗状況

#### 1. 地域ふれあい事業にかかる意見交換会

○：報告 △：計画	○	
①事業名	地域ふれあい事業にかかる意見交換会	
②事業目的	法人の運営協議会委員の方に参加していただき、第3回地域ふれあい事業開催に向けて地域のニーズを汲み取る。	
③実施日時	①平成30年6月28日 11:30~12:00 ②平成30年8月20日 14:00~15:00 ③平成30年10月31日 14:00~15:00	
④実施場所・会場	家族介護者教育室又は会議室	
⑤事業内容	・事業概要の説明。 ・意見交換。	
⑥実施プログラム	事業概要説明、意見交換会	
⑦参加人数	参加人数：6月は運営協議会4名+職員5名。8月は運営協議会5名+職員5名参加。	
⑧事業目的の達成点	民生委員の立場、地域の一員の立場から広く意見を得られた。	
⑨事業目的の未達成点	毎回参加する運営協議会委員の方が違ってしまいうため、一から説明が必要である。内容に入るまでの時間が長かった為事前準備が足りなかった。	
⑩実施上の問題点	実施の計画が急だったため、準備期間が必要。	
⑪次回への引継ぎ事項	計画的に準備を進める。前回の話し合いまでの内容をまとめる。	

## 2. ミニ地域ふれあい事業

○：報告 △：計画	○
①事業名	ミニ地域ふれあい事業
②事業目的	・第3回地域ふれあい事業に向けて地域のニーズの把握。 ・民生委員の方に地域ふれあい事業の集客も願います。
③実施日時	平成30年7月23日10:00~12:00
④実施場所・会場	農村環境改善センター
⑤事業内容	以下についての講話。 ・増粘剤を使用した水分の試飲（小板橋栄子） ・血圧測定 ・体圧分散（小板橋哲也）
⑥実施プログラム	10:00 挨拶・職員紹介 10:10 事業開始 11:30 体操 12:00 終了
⑦参加人数	職員4人+町民20名
⑧事業目的の達成点	第3回地域ふれあい事業の宣伝（チラシ配り等）
⑨事業目的の未達成点	看護からの説明もあればよかった。
⑩実施上の問題点	事前打ち合わせが足りない。
⑪次回への引継ぎ事項	話し方、興味をひきつける方法などの事前学習とアンケート内容の見直し。

## 3. 第3回地域ふれあい事業

○：報告 △：計画	○
①事業名	第3回地域ふれあい事業
②事業目的	・日々得ている知識を地域へ還元し家族の介護力の向上ができる事で、住む慣れた家でいつまでも暮らす事が出来る。 ・今後必要とされる介護人材の一助となる。
③実施日時	平成30年9月18日10:00~12:00
④実施場所・会場	農村環境改善センター
⑤事業内容	・岡本宏二先生による健康長寿と介護予防に関する基調講演 ・ブース運営（総合相談、障害体験、福祉用具展示、筋力年齢測定、認知症、血圧測定、栄養相談） 県社協、（株）メフォス、（株）ハッピーケア協力。
⑥実施プログラム	10:00 開会 10:15 講演・ブース運営 12:00 閉会
⑦参加人数	住民37名、職員24名、ハッピーケア3名、メフォス3名
⑧事業目的の達成点	プログラム通りの実施。
⑨事業目的の未達成点	反省会が未開催。
⑩実施上の問題点	-

#### 4. 障がい者福祉サービス事業

○：報告 △：計画	○
①事業名	障がい者福祉サービス事業
②事業目的	【ニーズ】 地域に住む障がい者の方々から、デイサービスも利用できないかという要望があった。 【目的】 事業の開所、障がい者サービスの充実。
③実施日時	平成30年8月1日～
④実施場所・会場	デイサービス
⑤事業内容	☆デイサービス生活介護事業所のサービス提供に至るまで☆ 1) 猪苗代町基準該当障がい福祉サービス事業所への手続き(林田) →猪苗代町役場へ申請書を提出し8月22日登録 2) 9月4日先進施設である北塩原村社協へ見学(林田、小板橋、福地) →サービス内容と事務手続きの確認 3) 重要事項書類や契約書等の作成 4) 10月1日からサービス開始
⑥実施プログラム	1) 8月中旬 猪苗代町基準該当障がい福祉サービス事業所へ手続き 2) 9月4日 北塩原村社協へ見学 3) 10月1日からサービス開始
⑦参加人数	-
⑧事業目的の達成点	10月1日からサービスが開始できた。
⑨事業目的の未達成点	高齢者へのサービスとほぼ同様になっている。入浴やりハビリ等、利用を希望する方の目的に沿ったサービスを従来のデイサービスの中でどのように提供していくか事前に話し合っ方針を共有する必要がある。
⑩実施上の問題点	同上
⑪次回への引継ぎ事項	-

#### ■その他

特になし。

#### ■主担当者所見

今年度も法人の運営協議会、民生委員会、猪苗代町社会福祉協議会との直接的な関わりを持つ事ができ、地域の方に事業の周知ができた。第3回地域ふれあい事業を開催することで協力いただく事業所の方はもちろん外部の方を含め広く地域住民の方に周知し、目的である介護力の向上へとつなげられるよう努力していく。また、前年度や今年度の反省点を踏まえ、来年度の事業開催の充実を図っていきたい。

#### 四 未来人材を育成する事業

担当班	未来人財班	担当事業	未来人財を育成する事業
課長	一ノ瀬慶子	主任	
主担当者	林田まり絵	副担当者	
報告書作成者	林田まり絵	作成日	平成31年4月1日

#### ■事業報告または計画の進捗状況

##### 1. 初任職員研修

○：報告 △：計画	○ 実施。入職の都度計画実施予定。
①事業名	初任職員研修
②事業目的	チームパフォーマンスの向上のための共通認識の形成。
③実施日時	平成30年4月10日、4月19日、5月10日、8月8日、8月28日、8月29日、12月5日、12月19日、12月20日、各9：00～18：00
④実施場所・会場	家族介護者教育室、面会室
⑤事業内容	法人概要、就業のルール、法人が期待する職員像、社会福祉の援助観と心構え、サービス提供の仕組み、法人の取り組みに関する講義。
⑥実施プログラム	09：00 法人・事業概要、労働安全衛生教育、防災教育 10：00 朝礼 10：10 接遇・マナー、就業規則と期待する職員像 11：10 ケアマネジメント、栄養マネジメント 12：00 休憩 13：00 社会福祉の援助観と心構え 14：50 口腔ケア、感染症対策、ターミナルケア 15：50 フロアケア、認知症ケア、個別ケア、事故対応等、腰痛予防、施設内見学、リハビリテーション 17：30 事務手続き 18：00 終了 (都合により時間変更等あり)
⑦参加人数	計8名 (4月10日19日：1名、5月10日：1名、8月8日：2名、8月28日29日：1名、12月5日：2名、12月19日20日：1名)
⑧事業目的の達成点	各部署協力により総合的な学習が図られている。
⑨事業目的の未達成点	受講後のフォローアップの体系が構築されていない。
⑩実施上の問題点	対象者の経験による受講内容の検討。
⑪次回への引継ぎ事項	余裕を持った計画実施を行う。

## 2. 初任職員成果発表

○：報告 △：計画	○ 実施。
①事業名	未来人財会議
②事業目的	初任職員研修やOJTで学習したことを自分の言葉で発表することで理解を促進する。
③実施日時	平成31年2月28日
④実施場所・会場	家族介護者教育室
⑤事業内容	下記についての発表。 ・今までのこと どんなことを心がけ仕事に臨んだか、うまくいったこと、失敗したこと、経験から学んだこと、成長したと感じたこと ・これからのこと 自分の課題、今後の目標と目標達成の方法、仲間のために貢献できること
⑥実施プログラム	・一人7分（発表5分、質疑応1分、準備後片付け1分） ・プレゼンテーション方法は発表者の任意
⑦参加人数	発表者2名
⑧事業目的の達成点	今年度の新任職員の振り返りの場を設けることができた。
⑨事業目的の未達成点	事前に発表者へのフォローアップが必要であった。
⑩実施上の問題点	
⑪次回への引継ぎ事項	計画的な実施。

### ■その他

特になし。

### ■主担当者所見

初任職員研修においては、入職後各部署の協力によりスムーズに実施することができている。しかし、入職者は福祉業界に初めて関わる職員であったり、何年も経験がある職員であったりと多様である。入職者の経験に応じた研修プログラムの構築が課題である。また、受講後のフォローアップ体制の構築により職員の定着を図っていきたい。

初任職員成果発表においては、初任職員の学んだことやこれからの目標について発表の場を設けることができた。次年度は育成に関わったプリセプターの振り返りも取り入れるとより充実したものになるのではないかな。

## 五 その他

### 人材育成

#### ○フレックスタイム制度

初任職員を対象に、それぞれに主指導者となるフレックスタイムを付け、フレックスタイム及びフレックスタイムのフォロー並びに進捗管理を行うエグゼクティブとして所属領域主任を配置し、指導を行った。このことについて毎月の研修委員会にて進捗状況や課題などを確認し、対応を検討した。

#### ○取り組み状況

フレックスタイムまたはエグゼクティブがフレックスタイムプログラムを作成。ひと月毎に到達目標を設定し、フレックスタイムとエグゼクティブで各項目を評価し、段階的に育成指導している。

### ■資格取得支援

No	対象資格	内容	対象者	備考
1	介護支援専門員	受験案内取り寄せ助成	3	-
2	介護福祉士	職業訓練休暇取得	1	5日間
				-

### ■実習等受入状況

#### ○内容別受入状況

No	期間	内容	派遣機関	受入事業所	受入数	延人数
1	8/9	小・中学校経験者研修	猪苗代町教育委員会	デイサービス	3	1
計					3	1

#### ○事業所別受入数

月	法人		特別養護老人ホーム		デイサービス		計	
	受入数	延人数	受入数	延人数	受入数	延人数	受入数	延人数
4	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	1	2	6	13	7	15
7	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	1	1	1	1
9	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	2	7	14	8	16

体験学習は、高齢者施設が初めてという研修生が多く、また、研修期間が短いことから「楽しかった」と感じてもらい、体験後も興味関心を持ってもらえるよう原則デイサービスでの受け入れを図った。

#### ④年次有給休暇取得率

平均	全職員	正職員	準職員	契約職員	パート職員
付与日数	17.92	19.57	19.33	15.72	15.83
取得日数	12.31	11.15	15.58	11.20	14.64
取得率	68.69%	56.97%	80.60%	71.25%	92.48%

#### ■役職員研修受講状況

施設外研修

<役員>

実施月日	研修名	場所	職種	人数	内容
5	7 第1回一般社団法人福島県老人福祉施設協議会総会	福島市アケビ・シンセセンター	施設長	1	平成29年度事業報告について、平成29年度収入支出決算（見込）、監査報告
	17~18 平成30年度東北ブロック老人福祉施設大会並びに総会	青森県行ル青森	施設長	1	平成29年度東北ブロック老人福祉施設協議会事業報告及び決算について、平成30年度東北ブロック老人福祉施設協議会事業計画（案）及び収支予算（案）について
	25 会津地区老人福祉施設協議会役員会	しょうぶ苑（喜多方市）	施設長	1	平成29年度事業報告（案）、平成29年度収入支決算報告（案）、役員選任（補助）案、平成30年度事業計画（案）平成30年度収支予算（案）
	28 平成30年度猪苗代地区安全運転管理者協会定期総会	行ルステル猪苗代	施設長	1	交通安全運転について
	31 平成30年度キャリアパス制度理解研修	郡山ユラックス熱海	施設長 機能回復訓練士	2	ふくしま「キャリアパス制度」がイデオロギー徹底活用によるキャリアパスの構築と運用、福祉・介護人材定着促進事業について、事例発表
6	7 平成30年度社会福祉法人等代表者会議	郡山ユラックス熱海	施設長	1	平成29年度監査結果及び平成30年度監査方針等について、指導監査ガイドライン、社会福祉充実計画について、
	8 平成30年度会津地区老人福祉施設協議会総会	会津若松市ワントホテル	施設長 総務課主任	2	平成29年度事業報告、収支決算報告、監事監査報告、役員選任、平成30年度事業計画（案）、収支予算（案）について
7	4 平成30年度福島県社会福祉協議会社旗福祉法人経営者協議会総会	ビッグパレットふくしま	施設長	1	平成29年度事業報告及び収入支出決算、青年部会事業報告及び収入支出決算、役員（理事・監事）改選、経営セミナー
	5 平成30年度安全運転管理者講習	行ルステル猪苗代	施設長	1	交通安全教育及び訓練並びに事故防止対策、自己防衛運転の基本を身につける
8	3 第2回理事会	福島県総合社会福祉センター	施設長	1	一般社団法人の理事の責任と役割について
	13~14 平成30年度東北ブロック老人福祉施設研究会	福島県文化センター	施設長 機能回復訓練士	2	開会式典、主催者側挨拶、感謝状贈呈、来賓祝辞、基調報告、記念講演「エリートだらけの中で輝くために」継続する大切さ、準備する大切さ
9	28 平成30年苦情解決責任者・第三者委員研修	ビッグパレットふくしま	施設長	0	苦情制度の仕組み・第三者委員について～現場における第三者委員の役割、苦情解決責任者・第三者委員の役割について考える
10	29 平成30年度社会福祉法人理事研修会	郡山ユラックス熱海	施設長理事	4	今求められる社会福祉法人理事の役割・ポスト・成長時代＝地域共生社会実現 政策の担い手となるべく生き残りをはかる社会福祉法人の経営戦略
11	2 平成30年度社会福祉法人監査研修	ビッグパレットふくしま	施設長 法人監事	2	社会福祉法人監査が担う実務の基本と監事監査のポイントについて
12	14 平成30年度福島県社会福祉法人経営者協議会並びに全国社会福祉法人経営者協会との共催セミナー	福島県農業総合センター	施設長	1	講義「将来を見据え、社会福祉法人経営に何が求められるか」「災害に備えて、いま、取り組むべきこと」
	18 猪苗代町社会福祉協議会理事会	猪苗代町地域福祉交流センター	施設長	1	専決処分「社会福祉法人猪苗代町社会福祉協議会給与規程の一部改正」平成30年度猪苗代町社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算（第1号）社会福祉法人猪苗代町社会福祉協議会評議員会の開催
1	8 会津地区老人福祉施設協議会役員会	特別養護老人ホーム しょうぶ苑	施設長	1	平成31年度の役員選任について、平成30年度第2回総会について、施設長研修会について、トランパーについて
2	13 平成30年度福島県老人福祉施設協議会理事会	福島県総合社会福祉センター	施設長 施設長	1	平成30年度補正予算（案）、来年度事業計画（案）、来年度予算（案）、理事改選、代議員選挙、委員会の編成、来年度の研修
	14 平成30年度福島県社会福祉協議会社会福祉法人経営者協議会総会（第2回）	ビッグパレットふくしま	施設長	1	福島県広域災害福祉支援ネットワークについて 報告事項、協議事項
3	19 猪苗代町社会福祉協議会理事会	猪苗代町地域福祉交流センター	施設長	1	社会福祉法人猪苗代町社会福祉協議会給与規程の一部改正、一般会計収入支出補正予算、平成31年度事業計画、平成31年度一般会計収入支出予算について、評議員の開催について
	19 猪苗代病院事業運営委員会	猪苗代町役場	施設長	1	平成29年度猪苗代町病院事業報告及び決算報告（病院）、平成29年度猪苗代町病院事業決算報告（町）、猪苗代町病院事業経営新改革プランの点検・評価について

<職員>

実施月日	研修名	場所	職種	人数	内容
4	20 全国経営協「社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー」	全社協 灘尾ホール	事務員	1	財務諸表等電子開示システムの入力のポイント 法人組織運営に関するよくある質問とその回答
	24 平成30年度診療報酬&介護報酬同時改定に向けて	コッパふくしま	機能回復訓練士	1	1.平成30年度介護報酬改定の見通し2.口腔機能の重要性について3.各種機能訓練加算の概要4.機能訓練加算の算定に向けて課題解決を実現するAEC(エースシステム)の紹介
5	22 介護支援専門員勉強会	地域福祉交流センター	介護支援専門員	3	QRコード(かえるわびシステム)について、認知症初期集中支援チームについて、認知症ケアパスについて、事例提供(JAよつば猪苗代、天空のさと猪苗代)
	22 平成30年度「福島県福祉・介護職員のつどい」	ビッグハットふくしま	介護員	1	蛇一部 つどい 第二部 交流会
	23 平成30年度 認知症高齢者対応研修	郡山ユラックス熱海	介護員	1	認知症とその症状等に関する知識を深めるとともに、利用者が主体となる認知症介護の基本理念を理解する
	24 在宅医療介護連携推進のための多職種連携研修会	猪苗代町体験交流館(く学びいな)	生活相談員 介護支援専門員 機能回復訓練士 看護師 介護員	9	グループワーク 医療と介護の連携について、今の職種の立場から日頃感じていることは？ 一人の地域住民としてどのような最期(あるいはそれを含む暮らし)を理想的な最後だと思いますか？
	29~30 全国老協「平成30年度経営戦略セミナー」	TOC有明コンベンションホール	機能回復訓練士 介護支援専門員	2	基礎報告、介護報酬改定の解釈及び算定に係る実務(特養・短期入所・通所介護・認知症対応型通所介護)、年々増加する高齢者虐待、貴法人の財務状況、介護職員処遇改善加算の正しい理解に向けて、介護報酬改定の解釈及び算定に係る実務(特養・短期入所)
	30 自立支援型地域ケア会議の傍聴	猪苗代町役場3階正庁	介護支援専門員 生活相談員 機能回復訓練士	3	いなわしろホーム機能訓練指導員の現在の状況と、今後の課題である本人からの「介護保険利用の卒業」について各専門職からの発表
	31 平成30年度キャリアパス制度理解研修	郡山ユラックス熱海	機能回復訓練士	1	福島キャリアパス制度が「トータル」徹底活用によるキャリアパスの構築と運用、福祉・介護人材定着促進事業について
6	12~14 2018年度ユニットケア研修	TKPガーデンシティ仙台	介護支援専門員 介護員主任	2	リエンション、ユニットを取り巻く社会的背景と展望、高齢者とその生活の理解、ユニットの理念と特徴、ユニットにおける個別ケアと自立支援、ケアのマネジメント、ユニットのマネジメント、ユニットケアの役割、統合と実践
	19 事業者支援セミナー[介護経営セミナー]	郡山市安積総合学習センター	副施設長	1	激変の平成30年度介護報酬改定の最終確認と早く始まった時期2021年度改正への準備対策
	21 介護保険事業者集団指導	会津大学	介護員	1	平成30年度介護保険サービス事業等の指導方針、届出の各種手続き等、高齢者の虐待防止、福祉施設等における事故状況、避難確保計画作成のポイント、介護員の喫煙吸引等業務 他
	23 第4回福島県WOCsセミナー	福島県農業総合センター	看護師	1	スキンケアの対応について
	25 平成30年度管理栄養士・栄養士研修会	TFTビル(東京都江東区)	管理栄養士	1	行政説明、講演、食のQOLを高めるチームの実現
7	2 平成30年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導	会津大学	事務員	1	集団指導の目的、制度の理解、不正の防止、より良いケアの実現
	3~5 社会福祉法人経営者研修会(経営管理コース)	中央福祉学院ロオス湘南	副施設長	1	社会福祉法人をめぐる制度・施策の動向、社会福祉法人の経営戦略、質の高い福祉サービスを提供するための業務改善の進め方、社会福祉法人の財務管理と経営のあり方、経営者のための求人広告講座
	3~6 2018年度ユニットケア研修 実習	湖星会 みどりの郷	介護員主任	1	リエンション、ユニットを取り巻く社会的背景と展望、高齢者とその生活の理解、ユニットの理念と特徴、ユニットにおける個別ケアと自立支援、ケアのマネジメント、ユニットのマネジメント、ユニットケアの役割、統合と実践
	4~6 10~11 平成30年度認知症介護実践者研修	男女共生センター	介護員	1	認知症ケアの基本的理解、認知症の人への具体的支援方法と展開、実習等
	10~13 2018年度ユニットケア研修 実践	湖星会 みどりの郷	介護支援専門員	1	リエンション、ユニットを取り巻く社会的背景と展望、高齢者とその生活の理解、ユニットの理念と特徴、ユニットにおける個別ケアと自立支援、ケアのマネジメント、ユニットのマネジメント、ユニットケアの役割、統合と実践
	13 猪苗代町保健衛生連絡協議会総会	猪苗代ホテルリステル	看護師 介護支援専門員	2	高齢者の救急に関する話題について
	24 認知症地域支援会議		介護員	1	認知症に関する勉強会、認知症サポーター養成、キャラバンメイトについて
25~27 平成30年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者研修	福島県総合社会福祉センター	機能回復訓練士	1	キャリアデザインとセルフマネジメント、福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ、リーダーシップ、能力開発、業務課題の解決と実践研究、リスクマネジメント、チームプロセスと他職種連携・地域協働、組織運営管理	
26 社会福祉会計簿記「入門講座」	ケイゼンビジネス公務員カレッジ	事務員	1	社会福祉法人の有様と会計、基本になる貸借対照表を理解会計はダム、建物は老朽化、加の計算書はなぜ2種類、計算書類の見方と財務管理、計算書類の様式	
8	8 介護支援専門員勉強会	地域福祉交流センター	介護支援専門員	4	生活支援体制整備事業について、猪苗代町の地域資源について、ケース検討
	9 認知症地域支援主催の勉強会	猪苗代農村環境改善センター	介護員	1	認知症勉強会
	10 平成30年度認知症介護実践者研修 報告会	男女共生センター	介護員	1	認知症ケアの基本的理解、認知症の人への具体的支援方法と展開、実習等
	17 平成30年度施設介護支援専門員研修会	会津若松ワシントンホテル	介護支援専門員	2	運営基準に基づいた施設サービス計画の作成方法
	20~22 27~28 平成30年度認知症介護実践者研修	郡山ユラックス熱海	事務員	5	認知症ケアの基本的理解、認知症の人への具体的支援方法と展開、実習等
	22 労働時間等に関する説明会	会津若松市ビッグホール	総務課主任 介護員	2	現行の労働時間制度の再確認と改正後の同制度の理解を深める
	28 平成30年度特定給食施設等講習会	会津大学	管理栄養士	1	衛生管理について、栄養管理について、講演会「会津の食材を活用した食育の推進～食の循環を意識した地産地消で会津地域を元気にしよう！」
	28 ユニット型施設見学研修	玉川ホーム	介護員 看護師	4	ユニット型転換先進施設である玉川ホームを見学する事で、知識や理解を深めることが出来、痕に活かすことが出来るようになる。

9	4	障がい福祉サービス事業施設見学	北塩原村社会福祉協議会 デイサービス	機能回復訓練士 生活相談員 事務員	3	身体障がい者を対象とするデイサービス、事務手続き他
	5~7	ユニット7管理者研修	ソラシティアパレルセンター	副施設長	1	ユニット7の理念と特徴、24HJの有効性
	21	給食担当職員研修会	母畑温泉「八幡屋」	機能回復訓練士	1	高齢者施設における咀嚼・摂食嚥下障害について、嚥下障害への対応は、姿勢&液体対応が重要ポイント、通常の嚥下を517で見る/座位と完全側臥位の違いを見る
	27~28	社会福祉法人会計初任者研修	仙台サンプラザ	事務員	1	社会福祉法人制度の沿革、社会福祉法人との関係、公正な支出管理、専門用語の克服、資産収支計算書・事業活動報告書、貸借対照表、複式簿記の仕組みと機能
	28	福島県知事選挙及び福島県議会議員補欠選挙に関する不在者投票事務説明会	会津若松市合同庁舎	事務員	1	不在者投票事務日程もついて、指定病院等における不在者投票について
10	2~4	平成30年度介護支援専門員専門研修Ⅱ	ビッグハットふくしま	介護支援専門員	1	77マネージャーに求められること、課題事例
	9	ユニット7施設視察	特別養護老人ホームスル坂下	介護員	1	業務体制、入居者の除く暮らしの実現
	9	24Hシート研修	TKP仙台南町通加アパレルセンター	介護支援専門員	1	24Hシートとは何か？24Hシートの作成、24Hシートと記録
	15	平成30年度自動車整備管理者等講習会	大江戸温泉物語湯屋あいつ	介護員	1	整備管理者等の関係法令、安全運転及び実務等について
	15	平成30年度「生活相談員研修会」	ホテル福島グリーンパレス	生活相談員 事務員	2	生活相談員からのキャリアプランを考える。シボゾウム今後の生活相談員に期待すること。成年後見人とは。
	16	ユニット7施設視察	特別養護老人ホームみどりの郷	介護員	4	小人数7、入居者が自分の住まいと思えるような環境づくり今までの暮らしを続けてもらえるような暮らし、24時間の暮らしを保障する仕組み
	16.22	平成30年度認知症キャリアン・メイト養成研修	ビッグハットふくしま	介護員リーダー	1	1認知症キャリアン・メイト養成講座の運営方法、4グループワーク（演習）
	18	社会福祉法人施設様向け働き方改革実務対応セミナー	郡山ユウクス熱海	管理栄養士兼事務員	1	働き方改革実務対応セミナー、就業大臣紹介
	22	平成30年度苦情受付担当者研修	郡山ユウクス熱海	看護師課長 介護支援相談員	2	苦情解決制度の仕組みと意義について、苦情・バグ対応の相談事例から学ぶ福祉サービスの向上を目指して
	23	ユニット7施設視察	特別養護老人ホームスル坂下	介護支援専門員 介護員、看護師	4	ユニット先進施設であるスル坂下を見学する事で知識や理解を深め今後の業務の活かし
11	1~2	平成30年度介護支援専門員専門研修Ⅱ	ビッグハットふくしま	介護支援専門員	1	77マネージャーに求められること、課題事例
	10	食のリハビリテーションセミナー	コパふくしま	機能回復訓練士	1	基本嚥下治療のアクセス、症例から学ぶ嚥下治療の関わり方
	11	平成30年度デイサービスセンター部会職員研修会	磐梯熱海温泉ホテル花の湯	介護員	1	事例発表「丸光デイサービス」「新鶴デイサービスセンター」「春園津谷デイサービスセンター」
	12~13	主任介護支援専門員更新研修	ビッグハットふくしま	介護支援専門員	2	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向、主任介護支援専門員としてののびのびの振り返りと指導・支援の実践（リハビリ、看取り、入退院、認知症、家庭、社会資源、地域密着）
	15	介護支援専門員勉強会	地域福祉交流センター	介護支援専門員	3	障害者福祉制度相談支援専門員との連携にむけて、ケース検討
	15	平成30年度在宅部会会津西部地区別職員研修会	会津若松市北会津保健センター	機能回復訓練士	1	講義：高齢化の進展～通所介護事業への期待グループワーク
	21	福島県身体拘束廃止推進セミナー	星総合病院ホリス保健看護学院	看護師	1	講演：身体拘束を廃止するために必要な方策 事例報告：身体拘束廃止に向けた取組み事例について
	26	福祉サービス第三者評価 体験発表	郡山市安積総合学習センター	副施設長	1	福祉サービス第三者評価と施設の中での活かし方、体験発表「福祉サービス第三者評価を受審して」
	27	ばんねつ研修	猪苗代町農村改善センター	副施設長 生活相談員 事務員 看護師	4	歯医者さんの仕事、口腔ケアの立ち上がりから今までを振り返って高齢者に歯科医に関われること
	30	事務担当者研修会	郡山市清稜山倶楽部	事務員	1	コミュニケーションについて、接遇・マナー
12	5	平成30年度事務長及びICT研修会	福島県総合社会福祉センター	介護員	1	講義「働き方改革について」事例発表「職員の働き方改革とICT機器利用による負担軽減策」「介護施設向け見守りシステム「ケアワン」の紹介」介護ICTの体験
	11	平成30年度会津地区老人福祉施設協議会施設部会第1回テーマ別研修会	会津7ビルズ	介護員	1	講演「全国老人福祉施設協議会D-WAT岡山県災害派遣」特別養護老人ホーム陽光園 施設長 名和重利氏
	18~19	主任介護支援専門員更新研修	ビッグハットふくしま	介護支援専門員	2	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向、主任介護支援専門員としてののびのびの振り返りと指導・支援の実践（リハビリ、看取り、入退院、認知症、家庭、社会資源、地域密着）
	18	平成30年度老人福祉施設職員研修Ⅱ	郡山ユウクス熱海	看護師	1	講義・実演「施設利用者のためのリハビリとは」「リハビリを効果的に実施するための展開法や言葉かけのポイント」「現場にあわせてゲームや体操などの応用方法」
	21	介護の人材定着UP!セミナー	福島県ハイテクプラザ 会津若松技術支援センター	看護師 機能回復訓練士	2	平成30年度福島県における福祉・介護人材確保のための事業について、その成功事例と失敗事例の分かれ目
	26	平成30年度地域の栄養サポート体制整備支援研修会	会津若松市文化センター	管理栄養士	1	基調講演「会津地域にATTACK活動を広めよう。」事例提供、質疑応答
	27	自立支援型地域ケア会議	猪苗代町役場	施設長 機能回復訓練士 生活相談員 介護員 看護師	6	介護予防メニューセレクト、生活行為メニューセレクト、介護予防サービス計画・総合評価、介護予防サービス個別計画書、77計画に對しどのようなサービスを提供しているか変化はあるか報告

1	9~10	主任介護支援専門員更新研修	ビッグハットふくしま	介護支援専門員	2	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向、主任介護支援専門員としてののじっせの振り返りと指導・支援の実践(リハビリ、看取り、入退院、認知症、家庭、社会資源、地域密着)
	11	平成30年度いなわしろホーム居宅介護支援事業所における猪苗代町指定居宅介護支援事業所との共同の事例検討会・勉強会	いなわしろホーム指定居宅介護支援事業所	介護支援専門員	3	事例発表
	18	平成30年度機能訓練担当職員研修会	東京都TFTビル	機能回復訓練士	1	地域包括ケアシステムにおける高齢者福祉施設の機能訓練、高齢者福祉施設の機能訓練のあり方、ICTを活用した自立支援志向の介護の成功事例、実証研究事業報告
	23	平成30年度社会福祉法人 人事・労務管理講座	東京都TOC有明コパレーションホール	副施設長	1	全国経営協がめざす人材確保・育成・定着の取組、労務管理関連法令の内容と対応のポイント、人事管理を支える制度の理解と構築方法
2	8	認知症地域支援会議	猪苗代町地域包括支援センター	介護員	1	認知症センター・ケアプラン実態調査アンケートについて、今年度の反省及び次年度の計画について
	14	介護支援勉強会	猪苗代町地域福祉交流センター	介護支援専門員	3	ケース検討・ハーモニー猪苗代・ゆうき居宅介護支援事業所平成30年度の反省及び次年度の計画について
	22~25	平成30年度職場研修担当者会議(第2回施設職員コース)	中央福祉学院(町がみ湖南)	介護員	1	福祉人材と職場研修、職場研修の考え方と促進方法、職場研修担当者の役割と課題
	28	猪苗代町自立支援型地域ケア会議	猪苗代町役場	介護員	1	モニタリング、事例、資料の読み込み、事例の概要説明、支援方針の説明
3	1	平成30年度会津地域現任認定調査研修会	会津大学	介護支援専門員	4	介護保険運営状況等について 基本調査項目のポイント・特記事項記載のポイント等について
	7	認知症地域支援会議及び認知症勉強会	中ノ沢老人福祉センター	介護員	1	認知症支援会議参加実績報告
	27	平成30年度高齢者の自立支援のための栄養マネジメント研修会プログラム	猪苗代町役場	介護支援専門員 介護員	5	高齢者の栄養マネジメントについて、自立支援型地域ケア会議の今後の進め方について

## 施設内研修

実施月日	研修名	講師	職種	人数	内容
5月30日	5月職員会	副施設長 一ノ瀬慶子	全職種	22	処遇改善手当の支給について、決算報告、きらり賞、
6月25・26・27日	6月職員会	副施設長 一ノ瀬慶子 看護師 佐瀬健一 介護員 杉本美樹	全職種	74	身体拘束の適正化に係る指針について、大規模改修の屋上防水工事について、福島県認知症実践リーグ研修について
7月25日	7月職員会	副施設長 一ノ瀬慶子 総務課主任 宮澤重嗣	全職種	47	新人事制度導入の狙い、目的、目指す人材像、現行人事制度と新人事制度の変更点、新制度の説明、新制度導入時期について、プロジェクトメンバーについて、個人目標面接について、評価者研修について
9月11日	平成29年度新任職員研修	各担当者	介護員	1	認知症ケア・生活リハビリ・口腔ケア・排泄ケア・褥瘡ケア・栄養食事形態・QA取扱い・労働安全衛生教育他
9月14・18日	9月職員会	針生ヶ丘病院居宅支援事業所 所長 大森洋	全職種	61	生き生き笑顔の職場作り (こころのシェアアップしよう)
9月10・11・12・13日	10月職員会	福施設長 一ノ瀬慶子 第一事業課課長 笠間順子	全職種	84	感染症について、就業・勤怠管理のシステム、身体拘束廃止未実施減算について
11月14~16日	11月職員会	副施設長 一ノ瀬慶子 生活支援領域リーダー 笠間 隆	全職種	64	平成28年度認知症リーグ研修伝達認知症と知っておくべきこと、非常時初動マニュアルの一部改正・外部からの侵入対策について
11月11・12・15日	12月職員会	副施設長 一ノ瀬慶子 介護員 佐藤多美子	全職種	65	平成30年度事業説明、育児・介護休業等に関する規程の改定、ユニットケアについて、その他(施設サービスを利用した時の費用)
11月19~20日	平成30年度新任職員研修	各担当者	介護員	1	認知症ケア・生活リハビリ・口腔ケア・排泄ケア・褥瘡ケア・栄養食事形態・QA取扱い・労働安全衛生教育他
1月25・28日	1月職員会	機能訓練指導員 横山早希予 防医療員 笠間順子	全職種	43	自立支援型地域ケア会議の事例発表について 感染症の予防について
2月25~26日	2月職員会	副施設長 一ノ瀬慶子	全職種		職員処遇改善計画について 36協定に係る「過半数代表」の選出について
3月22・25日	3月職員会	副施設長 一ノ瀬慶子	全職種	52	平成31年度事業計画及び重点項目予算について 多床室バリアー保護改修工事について

施設内研修（地域密着型特養）

実施月日	研修名	場所	職種	人数	内容
4/24	地域密着型推進運営委員会	いなわしろホーム	全職種	8	①委員紹介②福祉会運営推進会議規則の説明について③活動状況について④園外散策⑤その他
6/23	地域密着型家族交流会	いなわしろホーム	全職種	31	①ユニットケアの取り組みについて②地域密着型運営推進会議の報告③入居者様を交えてのお茶会
7/11	地域密着型推進運営委員会	いなわしろホーム	全職種	8	①身体拘束適正化の指針について②活動状況について③その他
9/12	いなわしろホーム敬老会・家族説明会	いなわしろホーム	全職種	7	①事故報告について②家族勉強会について③地域交流について④社会福祉法人等利用者負担軽減の対応について⑤その他
11/14	地域密着型推進運営委員会	いなわしろホーム	全職種	8	①事故報告について②家族勉強会について③地域交流について④社会福祉法人等利用者負担軽減の対応について⑤その他
1/16	地域密着型推進運営委員会	いなわしろホーム	全職種	9	①ユニットケアの活動状況報告について②介護事故1件の振り返りに関して③業務改善の評価④その他
3/13	地域密着型推進運営委員会	いなわしろホーム	全職種	9	①ユニットケアの活動状況報告について②介護事故の区分及び振り返りに関して③平成31年度事業計画（案）について④その他
	30	家族説明会	副施設長 一ノ瀬慶子 理学療法士 岡本先生	全職種	43

施設内研修（広域型特養）

実施月日	研修名	場所	職種	人数	内容
9/15	いなわしろホーム敬老会・家族説明会	いなわしろホーム	全職種	33	①事故報告について②家族勉強会について③地域交流について④社会福祉法人等利用者負担軽減の対応について⑤その他
3/30	家族説明会	副施設長 一ノ瀬慶子 理学療法士 岡本先生	全職種	43	平成31年度事業計画について 多床室セミプライベート工事について

施設内研修（在宅サービス）

実施月日	研修名	場所	職種	人数	内容
3/30	家族説明会	副施設長 一ノ瀬慶子 理学療法士 岡本先生	全職種	43	平成31年度事業計画について 多床室セミプライベート工事について

派遣

実施月日	派遣事業名	場所	職種	講師	内容
8/4	入浴ボランティア	国立警梯青少年交流の家	介護員	長澤大司	入浴介助
12/6	猪苗代町老人クラブ連合会料理講習会	猪苗代町農村環境改善センター	管理栄養士	小坂橋栄子	簡単に作れるお菓子・おやつ等

広域型施設ケアプラン立案

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
継続	6	2	13	9	19	10	9	9	12	9	18	12	128
新規	0	1	2	3	1	1	3	2	0	2	1	2	18
看取	1	1	2	2	2	2	1	0	1	0	0	0	12
計	7	4	17	14	22	13	13	9	13	11	19	14	158

地域密着型施設ケアプラン立案

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
継続	3	5	0	0	0	1	2	5	1	9	7	2	35
新規	2	1	4	3	1	2	0	0	0	2	1	0	16
看取	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	4
計	6	6	5	3	1	3	2	5	2	11	8	3	55

②長谷川式評価スケール（平成31年3月31日現在）

広域型

得点	評価	人数
4～5点以下	最高度	36
10点以下	高度	9
15点以下	中度	5
20点以下	軽度	6
25点以上	正常	4
計		60

地域密着型

得点	評価	人数
4～5点以下	最高度	12
10点以下	高度	3
15点以下	中度	0
20点以下	軽度	2
25点以上	正常	3
計		20

③月別要介護度

広域型

要介護	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	男性	女性										
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1
3	5	6	6	5	5	5	5	5	4	6	4	7
4	2	23	2	24	2	25	2	25	2	21	2	21
5	5	16	5	17	5	16	6	17	6	18	6	17
小計	14	46	15	47	14	47	15	48	14	46	14	46
在籍者数	60		62		61		63		60		60	
平均介護度	4.07		4.08		4.08		4.11		4.13		4.10	

要介護	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	男性	女性										
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1
3	4	7	5	7	5	7	5	7	5	7	5	8
4	2	20	2	20	2	20	2	20	2	21	2	21
5	6	18	6	18	5	18	5	19	5	18	5	17
小計	14	46	15	46	14	46	14	47	14	47	14	47
在籍者数	60		61		60		61		61		61	
平均介護度	4.12		4.10		4.08		4.10		4.08		4.05	

地域密着型

要介護	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	男性	女性										
1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	4
4	3	7	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6
5	3	6	3	6	2	6	2	6	2	6	2	6
小計	6	16	6	15	5	16	5	16	5	16	5	17
在籍者数	22		21		21		21		21		22	
平均介護度	4.27		4.29		4.10		4.10		4.10		4.05	

要介護	10月		11月		12月		1月		2月		3月	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	0	4	0	4	0	4	0	4	0	5	0	6
4	3	6	3	6	3	7	2	7	2	7	2	5
5	2	4	2	4	2	4	2	5	2	5	2	5
小計	5	15	5	15	5	15	4	16	4	17	4	16
在籍者数	20		20		20		20		21		20	
平均介護度	3.95		3.95		4.1		4.15		4.10		4.05	

### Ⅲ 第一事業課事業報告書

#### 一 事業計画の現況

部署名	第一事業課	課長	笠間順子
報告書作成者	笠間順子・小坂橋哲也	作成日	平成30年10月17日

#### ■事業報告または計画の進捗状況

##### 1. 選ばれる施設づくり

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	選ばれる施設づくり	
②事業目的	ニーズに即したサービスの提供。	
③実施日時	随時。	
④実施場所・会場	-	
⑤事業内容	自分の家族に勧められる施設づくり。	
⑥実施プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケア向上の取り組み。</li> <li>・地域ふれあい事業。</li> <li>・地域交流事業への参加。</li> </ul>	
⑦参加人数	全職員。	
⑧事業目的の達成点	-	
⑨事業目的の未達成点	未来プラン委員会など設置されているが、幅広く現場の意見を反映させていかないと、スタッフがついていけない。	
⑩実施上の問題点	現場との温度差解消等がないと意識改革が難しい。	
⑪次回への引継ぎ事項	各スタッフの考えを聞く機会をつくり、反映できるものはして行く。	

##### 2. 高品質な生活支援

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	高品質な生活支援	
②事業目的	利用者のQOLの向上。	
③実施日時	随時。	
④実施場所・会場	いなわしろホーム入所生活空間。	
⑤事業内容	個別ケアの充実。	
⑥実施プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の変化に対応した最善のケアの提供。</li> <li>・施設内外の研修参加。</li> </ul>	
⑦参加人数	第一事業課職員。	
⑧事業目的の達成点	-	
⑨事業目的の未達成点	-	
⑩実施上の問題点	職員の意識改革や教育ができておらず、流れケアが払拭できない。	
⑪次回への引継ぎ事項	各職員の専門性を生かし、多職種連携し、常に最善のケアを考える。	

### 3. ターミナルケアの充実

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	ターミナルケアの充実	
②事業目的	利用者や家族、職員が共に共感できるターミナルケアの提供。	
③実施日時	随時。	
④実施場所・会場	各利用者居室。	
⑤事業内容	ターミナルケアについての説明と同意、反省。	
⑥実施プログラム	利用者・家族に対し、入所前からターミナルケアについて説明するとともに、希望等を伺い、施設でできる限りのケアを提供する。 また、ターミナルケアの振り返りを行う。	
⑦参加人数	全職員。	
⑧事業目的の達成点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族から感謝の声が聞かれている。</li> <li>・ ターミナル研修参加等を通し、知識が身につけてきている。</li> <li>・ ケアの振り返りを徐々に行えている</li> </ul>	
⑨事業目的の未達成点	今までの経験をその後のターミナルケアに活かさきれていない	
⑩実施上の問題点	施設全体の協力が得られていない。	
⑪次回への引継ぎ事項	生活相談員が舵を取るのがベスト。家族と職員の間を調整し、連携を図る。	

### 3. 介護職員のスキルアップ

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	介護職員のスキルアップ	
②事業目的	知識や技能のアップ。自分で考え実践できる能力の育成。	
③実施日時	随時。	
④実施場所・会場	施設内外。	
⑤事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャリアパスに基づいた研修参加。</li> <li>・ 職員の資格取得支援。</li> <li>・ 内部研修促進。</li> </ul>	
⑥実施プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育訓練休暇、勤務調整など。</li> <li>・ 各研修への参加（喀痰吸引研修、認知症関係研修、介護福祉士や介護支援専門員資格取得など）</li> <li>・ 個別援助計画立案研修の開催。</li> </ul>	
⑦参加人数	第一事業課職員。	
⑧事業目的の達成点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要研修の受講</li> <li>・ 資格取得</li> <li>・ ノウハウの施設還元</li> <li>・ 理論に基づいた計画的なケアの提供</li> </ul>	
⑨事業目的の未達成点	<p>受動的な職員が多い。</p> <p>伝達された知識や技術を日常ケアに活かさきれていない 理論的に理解しきれていない</p>	
⑩実施上の問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課全体のケア力の低下や職員流動により、対応しきれていない。</li> <li>・ 基本業務が利用者のペースに合わせて行うため、ケア提供者の能力のみで左右されず、業務調整しにくい。</li> </ul>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間および人数調整が困難で取り組む意欲が低下している。</li> <li>・自己啓発意欲が高まらない。</li> <li>・その他業務が多く、精神的余裕が生まれにくい。その為意欲が湧きにくい</li> </ul>
⑪次回への引継ぎ事項	総合ケア力の把握とそれに応じた業務提供 業務調整、指導にて、自己啓発を高められる環境、風土作り

■その他  
特になし。

■課長所見

全体的には目標をクリアしているが、職員の主体性が出れば、より良いケアの提供に繋がると思われる。しかし、現在は、日々のケアで手詰まりの状況で、職員がゆとりを持ってケアができるよう、処遇面での改善も必要である。

## 二 取り組み状況

30年度の取り組み状況について

### ○介護保険改正等での昨今の問題点

- ・全国的に介護職員の担い手が減少傾向にある。県内の専門学校でも、ここ数年介護福祉科は定員割れ状態でクラスを減らしたり、需要のある別の科に転換している状況にある。今後の施設継続には、現スタッフの離職を軽減しながら、(定年者も毎年出ている。)毎年新たな人材確保をして行かなければならない。スタッフ確保においては新人事制度を作成中であるが、より働くスタッフの為になる人事制度を早急に確立することが大事である。(正社員制度見直し等)
- ・国の歳入の3分の1は国債(借金)になっている現在、介護分野に割り当てる財源が少ない。その為、利用者からの徴収が増加し続けている。利用者や家族からの要望も増えてきている状況で、介護業界で生き残るには、ケアの在り方から根本から見直す時期にきている。

### ○評価が高まっている活動

- ・昨年度に引き続きリハビリスタッフにおいては、理学療法士1名、作業療法士2名、言語聴覚士1名、鍼灸師1名と県内の特養では他に例がないスタッフでリハビリにあたっている。特にショートステイ利用者からは好評で、地域の介護予防にも繋がっている。
- ・生活リハビリにおいて、当施設の事例や取組が、月4回指導にみえられている作業療法士の岡本先生によって全国発信されている。全国の発表の中では、当施設の評判が高まっているようで、研究発表等で、今後も講師依頼の話もあり協力して行く。
- ・地域交流事業については、磐梯祭りの総踊り参加やふれあい事業などで、少しずつ施設のPRが出来てきている。ふれあい事業においては、まだ規模が小さいが確実に参加者から好評の声を頂いている。今後も小さなサロンへの出張介護講座や介護予防講座など、地域に根差した施設づくりに取り組んで行く。

### ○30年度の課題の達成状況について

#### ①2F 地域密着型ユニットケアについて

・30年度の目標まではいかないが、何とかユニットらしくはなってきた。さらに研修や視察等を行い利用者個々のニーズに沿えるユニットケアを目指していく。

・ユニットリーダー研修、ユニット管理者講習、ユニット施設視察などをして知識を高めている現状で、しっかりとした24Hシートを完成させ、より家庭的で利用者ニーズのケアを目指す。

来年度も継続し、ユニットリーダー研修等への参加をし、スタッフも知識を向上させる。

#### ②ショートステイ居室のセミプライベート化について

・工事期間中は利用者数の制限や騒音、粉じん等利用者にはご迷惑をかけるかたちとなったが、工事終了後はパーティションの壁ができたので、ショートステイ利用者からは好評である。

#### ③認知症ケアの充実。(資格取得と内部研修実施で、認知症個別ケアの実践をする。)

・認知症実践者研修及びリーダー研修に数名のスタッフを派遣し、資格取得している。

#### ④地域交流事業の継続と内容の充実を図る。

・7月23日にミニふれあい事業を実施。9月18日に他機関と連携し、地域ふれあい事業を実施。参加人数は予定より少なかったが、内容は好評でした。

#### ⑤地域ニーズを探求し、より地域に根ざした施設づくりをする。

・地域行事の積極的参加と地域ボランティアの積極的受け入れ行っている。

#### ⑥厚生労働省委託事業。(介護ロボット推進会議)

・ニーズ発信者として、県内3名の現役介護福祉士の中に当施設スタッフが選ばれ、新しいニーズの介護ロボット開発に取り組んだ。全国で六ヶ所の特別チームに選ばれた。

#### ⑦ターミナルケアの要望も増え、より良いターミナルケアについて協議し実践する。

・年間で17名のターミナルケアを行った。今年度からターミナルケアの振り返りを行い、より利用者や家族に寄り添ったケアの提供が出来るように模索中である。

・入所者の殆どが、終末期は施設でのターミナルケアを望んでいる。今後は、現状よりさらに利用者、家族スタッフがお互いに寄り添ったターミナルケアを目指していく。

・来年度は納棺師からエンゼルケアやターミナルケアについて学ぶ機会をつくる。

## i 生活支援領域

### 一 事業計画の現況

部署名	第一事業課生活支援領域		
課長	笠間順子	課長	橋谷田一枝
主任	小坂橋哲也	主任	棚木啓史
報告書作成者	棚木啓史	作成日	平成31年4月1日

#### ■事業報告または計画の進捗状況

##### 1. 笑顔ある「心通うケア」の提供と自立支援

○：報告	△：計画	△	継続実施。
------	------	---	-------

①事業名	笑顔ある「心通うケア」の提供と自立支援
②事業目的	ケアへの安心感を高める。 抑えることが出来る周辺症状の抑制 より生活しやすい状態を作る(リズム、生活環境等)
③実施日時	常時。
④実施場所・会場	いなわしろホーム入所生活空間。
⑤事業内容	利用者とのより良いコミュニケーション且つ自立支援
⑥実施プログラム	○各利用者様の性格や生活習慣、環境の把握 ○中核症状、周辺症状の把握を図り、それに伴った対応の仕方(多職種間の情報共有促進) ○各フロアごとに随時検討、伝達(ミーティング時の申し送り強化、状態変化があった際の各フロアでの申し送り強化、人数が少ない時のフロア間応援支援にて余裕のあるケア提供、自立支援を意識したケア提供) ○声掛け強化や余暇時間の上記を考慮した各利用者との関わり
⑦参加人数	入所者ならびに全職員。
⑧事業目的の達成点	○利用者からのニーズ発掘と信頼関係の構築。 ○利用者様の各情報収集、把握 ○利用者様の状態、情報から関わり方の検討、最適化が出来る ○随時職員が考え、且つ報連相を行える
⑨事業目的の未達成点	タイムリーな情報収集、報連相、それに応じたコミュニケーションの取り方を随時立案出来ていない
⑩実施上の問題点	○余暇時間の算出が以前よりも出来ていないことがあり、ケア主体の生活提供となりがちである。 ⇒病休、産休、休暇調整等うまくいかず、余暇時間算出が難しい時あり。算出出来ても、人数が少ない日に対応できなかった業務を行うことに時間をあてると余暇時間を十分なレク等に当てることが困難。 ○ケア提供時の関わり方は良くなってきている印象であるが、自立支援を意識した対応は不十分な印象であり、日々の意識から外れている印象。 ⇒人数的に余裕がある時は心身状態、動作能力を意識し、残存機能を活かしたケアを意識した対応が出来ていることが多いが、余裕がない時はまだ不十分な様子。前記したように人数が少なかった時の調整も加わるとさらに不十分となっている。
⑪次回への引継ぎ事項	○業務調整、余暇時間の算出、コミュニケーション強化、自立支援の意識づけ(継続) ○傾聴を意識した対応(継続) ○各々が職員意識をしっかりと持ち、一方向の協力要請ばかりでなく、協力し合おうとすること。負担の比重が偏りすぎないような調整。

## 2. 利用者・家族・地域に喜ばれるリハビリテーションの提供

○：報告 △：計画	△ 継続実施。
①事業名	利用者・家族・地域に喜ばれるリハビリテーションの提供
②事業目的	利用者QOLの向上。 心身不調の予防 安定した日常生活を過ごせる
③実施日時	常時。
④実施場所・会場	いなわしろホーム入所生活空間。
⑤事業内容	利用者のニーズに合わせたリハビリテーション施行および付随する知識、技術の提供。
⑥実施プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他職種間における情報共有促進</li> <li>○リハビリスタッフおよび他職種へのケアアドバイス。</li> <li>○担当者会議やフロア会議参加、家族交流時の情報発信。</li> <li>○担当制を導入し、状態管理と他職種連携強化</li> <li>○普段からの担当にかかわらないリハスタッフ間での報連相促進</li> <li>○より申し送り把握を強化し、生活状況の把握、それによる現在のケア力を考慮した生活リハビリのプログラム立案、介入</li> </ul>
⑦参加人数	入所者および入所者家族ならびに全職員。
⑧事業目的の達成点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リハビリの観点からの利用者の生活介入。</li> <li>○各会議参加にて情報発信、リハビリ指導、他職種との連携。</li> <li>○リハスタッフ間、リハ、介護員間の報連相の強化</li> <li>○柔軟なその日ごとの業務調整にて定期的な状態把握やケア介入が出来てきている</li> </ul>
⑨事業目的の未達成点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ニーズの変化の把握、即時対応。</li> <li>○ケア介入頻度、より状態に合わせた適切なケア提供。</li> <li>○心身不調予防が不十分</li> <li>○安定した日常生活を過ごすには心身アプローチ、管理体制が不十分</li> <li>○安定した介入が出来ていない為、目的に関しては全体的に不十分</li> <li>○提供予定のケアに必要な人数が少ないことで、ケア力が低下、それに伴う生活リハビリの対応不十分</li> </ul>
⑩実施上の問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前回問題点同様に多職種連携の際、主体業務の提供状況によって、リハビリ提供頻度・内容・提供時間等が変動しやすい。また、時間に追われるとルーティーン化しやすく、状態把握や変化への対応がおろそかになっている。</li> <li>⇒大きく変化はない。状態把握やケア介入は以前よりは出来てきているが、意識するようになっただけである。ケア介入頻度も一定を保つ為に、リハの質の低下がみられる。</li> <li>○まだ職員の意識づけがしっかり出来ていない。</li> <li>⇒職員一人一人がリハビリへの意識は高まっているが、前記した内容から、しっかり時間をかけたくてもかけられないといった状態となっている。また意識が離れてしまわないように注意が必要。</li> </ul>

⑪次回への引継ぎ事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○密に相談や連携を図り、ルーティーン化を防ぐ(継続)</li> <li>○考えることを促進する(継続)</li> <li>○生活リハビリの促進(継続)</li> <li>○業務調整が出来れば行う</li> </ul>
------------	---

### 3. 家族・地域との信頼関係の構築

○：報告 △：計画	△ 継続実施。
①事業名	家族・地域との信頼関係の構築
②事業目的	家族・地域とのより良い関係づくり。 家族・地域から要望が上がる、ご指摘いただける関係性の構築
③実施日時	随時。
④実施場所・会場	施設内外。
⑤事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族への細目な連絡や面会時におけるコミュニケーション機会を積極的にとる</li> <li>○地域事業への参加や施設行事への参加呼びかけ。</li> <li>○地域ふれあい事業実施。</li> </ul>
⑥実施プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員間で連絡すべき内容かどうかを報連相し、皆で促しあえるように意識した対応をする。</li> <li>○家族面会等の来所時に積極的にコミュニケーションを図り、情報発信していけるように意識した対応をする。</li> <li>○誠実な対応を心掛ける</li> <li>○良い意味で周りの目を気にして対応を。</li> </ul>
⑦参加人数	入所者家族ならびに全職員。
⑧事業目的の達成点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家族・地域との関わりが促進されている</li> <li>○ふれあい事業も定着化してきている。</li> </ul>
⑨事業目的の未達成点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ご家族とのコミュニケーション不十分</li> <li>○タイムリーなニーズの把握</li> <li>○処遇が不十分。</li> </ul>
⑩実施上の問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意識して積極的にコミュニケーションを図っていけない(いかない)職員もいる(やる意識がない)</li> <li>⇒大きく変化なし。限定的な職員が行うことがほとんど。</li> <li>○悪い意味で慣れてしまっている。そのため処遇、職務意識が低下。</li> </ul>
⑪次回への引継ぎ事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーションをとる意識を高め、関係性の構築を図る</li> <li>○職場全体で意識を高く保つ。</li> </ul>

### 4. 自己啓発意識の向上とスキルアップ

○：報告 △：計画	△ 継続実施。
①事業名	自己啓発意識の向上とスキルアップ
②事業目的	ケアの質の向上。
③実施日時	随時。
④実施場所・会場	施設内外。

⑤事業内容	○キャリアパスに基づいた研修参加。 ○職員の資格取得支援。
⑥実施プログラム	○各研修への参加（認知症関係研修、介護福祉士や介護支援専門員資格取得など）。
⑦参加人数	第一事業課生活支援領域職員。
⑧事業目的の達成点	介助しやすいやり方を考え、提供出来る。
⑨事業目的の未達成点	介助者だけでなく利用者主体の介助が不十分な点もある。
⑩実施上の問題点	○資格を取得することに魅力を感じていない ○資格を取得することに意味を見いだせない （キャリアパスがまだ整備されていない為） ○職員配置上、長期間研修は他職員への負担が増え、参加しづらい。 ⇒上記3項目に変わりなし。 ○モチベーションは各々違う
⑪次回への引継ぎ事項	○キャリアパス整備、それを踏まえた各職位職員の自己啓発意識促進、 目標設定 ○改めて個々の道の設定

#### ■主任所見

○日々の人数調整がうまくいかず（病休、希望、体調不良等による突発的休み等）、負担が一定の職員に集中しやすい印象。業務比重も偏りが生じている。今年度はそれが一定期間続きやすかったり、頻度が多かったこともあり、主任、課長を中心に調整、支援を行ったが、心身的に不調を訴える職員が多かった様子。

○上記要因にて、最低限の通常業務以外のケア関連業務を違う日の余暇時間で行うことが多くなり、実質いつも変わらない状態になっている。

○利用者様の問題点を抽出し、どういうケア対応をするか考える癖が出来ている職員が増えた印象。だが、実際のケアスケジュールの中に落とし込み、しっかり統一して毎日質が同程度のケア提供を行うことが出来ていない様子。

○新入職者、異動職員は業務に慣れてきている。業務自体は行えているが、現状のケアがルーティーン化せず、さらにより良いケアを意識して日々の業務にあたるように指導、誘導していく。慣れてきたことでおろそかになってしまうことや、事故につながっていかないようにも指導、引締めが必要である。

○なでしこフロアのリーダー格不在に伴い、他フロアとの連携や業務調整、業務見直しや引締め等に影響あり。

○継続して介助量が増大している利用者様が多い。雑務や新規事業、ケア提供に影響を及ぼす突発的事項が多い事もあり、利用者様のペースに合わせた対応や自立支援を意識していても対応しきれない現状。調整もしきれないことが多い様子。

○日々の余裕がないこと（精神的に）とキャリアパス整備中といったことがあり、自己啓発意識が低い職員もいる。キャリアパスの整備状況をみながら、職員個々の目標設定、意欲を高める、意識を高めていくこと行っていく。⇒キャリアパス未整備にて継続。上期よりも気持ちに余裕がなくなっている様子。

○発言に責任を持たない、判断、決断が出来ない、主体性を持たないといった職員がおり、「ど

うするの」「どうしたらいいの」という発言が多い様子。

○上司、ユニットリーダー、スタッフの意識が統一されていない。もっとユニットリーダーの意見を最優先に進めていかないと、縦の関係が崩れてより良いケアに繋がらない。(意見や案を提供するのは良いが、決定事項の押し付けではスタッフは育たない。反発心はすべてに悪影響になる。

### 三 その他

#### 1.出身地別入所・退所状況

( 広域型 )

市町村別	性別			平成30年度の異動状況					
	現 員			入 所			退 所		
	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計
猪苗代町	12	41	53	2	5	7	2	8	10
会津若松市	0	1	1	0	0	0	0	1	1
北塩原村	1	1	2	0	0	0	0	0	0
磐梯町	1	0	1	0	0	0	0	1	1
合 計	14	43	57	2	5	7	2	10	12

( 地域密着型 )

市町村別	性別			平成30年度の異動状況					
	現 員			入 所			退 所		
	男	女	小計	男	女	合計	男	女	合計
猪苗代町	4	16	20	2	7	9	3	5	8

#### 2.月別入所・退所状況

( 広域型 )

月別	性別	入 所			退 所			
		男	女	小計	男	女	小計	
平成30年	4月	0	0	0	0	0	0	
	5月	1	1	2	1	2	3	
	6月	0	2	2	0	1	1	
	7月	1	2	3	1	3	4	
	8月	0	1	1	0	1	1	
	9月	0	1	1	0	3	3	
	10月	0	3	3	0	1	1	
	11月	1	1	2	1	0	1	
	12月	0	0	0	0	1	1	
	平成31年	1月	0	2	2	0	1	1
		2月	0	1	1	0	1	1
		3月	0	1	1	0	1	1
合 計		3	15	18	3	15	18	

( 地域密着型 )

入 所			退 所		
男	女	小計	男	女	小計
1	2	3	0	2	2
0	1	1	1	0	1
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0
0	1	1	0	1	1
0	0	0	0	0	0
0	0	0	2	1	3
1	2	3	0	0	0
0	1	1	0	1	1
0	0	0	0	0	0
2	7	9	3	5	8

## 3.退所理由

( 広域型 )

区別 \ 性別		男	女	計
家族引取り		0	0	0
他施設へ		0	0	0
長期入院		0	0	0
死 亡	施設内(看取)	3	10	13
	入院後	0	5	5
	自 宅	0	0	0
事業所移行		0	0	0
計		3	15	18

( 地域密着型 )

男	女	計
0	0	0
0	0	0
1	1	2
0	4	4
1	0	1
0	0	0
1	0	1
3	5	8

## 4. 利用者性別・年齢別構成

( 広域型 )

○最高齢：101歳 ○最年少：61歳 ○平均年齢：88.31歳 (男性：80.90歳/女性：90.56歳)

年齢別 \ 性別	男	女	計	年齢別 \ 性別	男	女	計
65歳未満	1	0	1	85～89歳	1	12	13
65～69歳	2	0	2	90～94歳	2	13	15
70～74歳	0	1	1	95～99歳	1	11	12
75～79歳	2	2	4	100歳以上	0	2	2
80～84歳	5	5	10	計	14	46	60

( 地域密着型 )

○最高齢：95歳 ○最年少：77歳 ○平均年齢：88.38歳 (男性：88.63歳/女性：88.32歳)

年齢別 \ 性別	男	女	計	年齢別 \ 性別	男	女	計
65歳未満	0	0	0	85～89歳	1	5	6
65～69歳	0	0	0	90～94歳	2	5	7
70～74歳	0	0	0	95～99歳	0	2	2
75～79歳	0	2	2	100歳以上	0	0	0
80～84歳	1	2	3	計	4	16	20

## 5.日常生活状況

( 広域型 )

ADL内容	食 事					移乗動作				移動手段				入浴		
	自 立	見 守 り	一 部 介 助	全 部 介 助	経 管 栄 養	自 立	見 守 り	一 部 介 助	全 部 介 助	歩 行	歩 行 器 等	車椅子		機 械 浴	パチ エ ア イ ス ン	個 浴
												普 通 型	そ の 他			
実数(人)	2	10	27	8	14	1	4	16	39	0	4	36	20	28	18	14
割合(%)	3.4%	17.2%	46.6%	13.8%	24.1%	1.8%	7.0%	28.1%	68.4%	0.0%	7.0%	63.2%	35.1%	49.1%	31.6%	24.6%

( 地域密着型 )

ADL内容	食 事					移乗動作				移動手手段				入浴		
	自 立	見 守 り	一 部 介 助	全 部 介 助	経 管 栄 養	自 立	見 守 り	一 部 介 助	全 部 介 助	歩 行	歩 行 器 等	車椅子		機 械 浴	パ チ エ ア イ ス ン	個 浴
												普 通 型	そ の 他			
実数(人)	0	2	13	5	0	0	4	7	9	1	1	17	1	3	7	10
割合(%)	0.0%	10.0%	65.0%	25.0%	0.0%	0.0%	20.0%	35.0%	45.0%	5.0%	5.0%	85.0%	5.0%	15.0%	35.0%	50.0%

( 広域型 )

ADL内容	日中排泄			夜間排泄			離床センサー		身体拘束	
	ト イ レ	P ト イ レ	ベ ツ ト 上	ト イ レ	P ト イ レ	ベ ツ ト 上	あ り	な し	あ り	な し
実数(人)	24	1	35	4	5	51	18	42	0	60
割合(%)	42.1%	1.8%	61.4%	7.0%	8.8%	89.5%	31.6%	73.7%	0.0%	105.3%

( 地域密着型 )

ADL内容	日中排泄			夜間排泄			離床センサー		身体拘束	
	ト イ レ	P ト イ レ	ベ ツ ト 上	ト イ レ	P ト イ レ	ベ ツ ト 上	あ り	な し	あ り	な し
実数(人)	13	0	7	4	2	14	10	10	0	0
割合(%)	65.0%	0.0%	35.0%	20.0%	10.0%	70.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

## 6.機能回復訓練状況

### (1) 長期入所(広域)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	30	28	31	364
実人数	60	59	61	61	59	59	59	60	60	59	57	59	713
延回数	549	598	600	591	613	547	561	550	641	545	551	552	6,898

### (2) 長期入所(地域)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	29	30	30	28	31	362
実人数	21	21	20	20	20	20	19	19	19	20	20	20	239
延回数	342	390	368	304	285	268	271	236	244	232	222	282	3,444

### (3) 短期入所

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
実施日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実人数	71	75	71	78	77	76	72	76	78	65	64	61	864
延回数	595	639	597	657	615	613	591	631	635	565	523	576	7,237

## 7.医療保険加入状況等

性別	保険別	後期高齢者医療保険		生活保護	重度医療受給者	精神障害者手帳	身体障害者手帳	特定疾患医療受給者証
		国民健康保険	共済組合保険					
男		16	国保 2	1	7	0	9	0
女		59	共済 0	2	11	0	19	1
計		75	2	3	18	0	28	1

## 8.身体障害者手帳所持状況

種別	種別								計	不所持
	1級1種	2級1種	2級2種	3級1種	3級2種	4級2種	5級2種	6級2種		
男	7	0	0	0	0	1	0	1	9	9
女	4	6	1	1	4	1	0	2	19	43
計	11	6	1	1	4	2	0	3	28	52

## 9.入所前状況

性別 \ 内訳	家庭	病院	施設	Gホーム	計
男	2	9	6	0	17
女	26	7	29	1	63
計	28	16	35	1	80

10.身元引受人状況

続柄	男	女	計
配偶者	0	2	2
子供	13	53	66
兄弟姉妹	3	1	4
義理姉・義理息子	1	1	2
いとこ	0	0	0
甥姪	1	2	3
叔父叔母	0	0	0
後見人ほか	0	0	0
孫	0	3	3
計	18	62	80

11.年金受給状況

※併給者0名

種別 性別	国民年金	厚生年金	共済年金	無年金	家族 後見人 管理	不 明	計
	男	0	0	0	1	17	0
女	0	0	0	0	62	0	62
計	0	0	0	1	76	0	80

12.要介護度状況

(広域型) 平均要介護度 4.03 (男性 3.71 /女性 4.13)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	2	5	2	5	14
女	0	1	8	21	16	46
計	0	3	13	23	21	60

(地域密着型) 平均要介護度 4.05 (男性 4.50 /女性 3.94)

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	0	2	2	4
女	0	0	6	5	5	16
計	0	0	6	7	7	20

13.ボランティア受入状況 (奉仕作業、慰問等)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計	3	0	11	0	38	3	12	27	23	67	1	1	186

14.家族面会状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
計	499	467	488	550	646	471	393	425	412	328	270	407	5,356
1日平均	17	15	16	18	21	16	13	14	13	11	10	13	29
昨年度	461	513	170	487	554	400	415	366	333	202	298	488	2,585
前年比	38	(46)	318	63	92	71	(22)	59	79	126	(28)	(81)	2,771

※平成31年1.2月はインフルエンザ発症のため面会制限を行ったので面会者数が減となっている。

15.行事報告※ ※施設にて企画したものを“行事”としているため、ボランティアによる訪問交流は含めていません

月	日	項目	場所	参加者
平成30年 4月	19日（木）	AM 園外散策（お花見）	観音寺川、運動公園ほか	3名
	20日（金）	PM 園外散策（お花見）	観音寺川、運動公園ほか	4名
	21日（土）	PM 園外散策（お花見）	観音寺川、運動公園ほか	9名
	22日（日）	PM 園外散策（お花見）	観音寺川、運動公園ほか	2名
6月	16日（木）	運動会	改修工事により中止	0名
7月	19日（木）	手持ち花火大会	ホーム正面玄関前駐車場 ピロティ	127名、ボランティア0名
8月	2日（木）	夏まつり	ホーム正面玄関前駐車場	163名、ボランティア34名
9月	15日（土）	敬老会	ホーム食堂	98名、ボランティア30名
10月	20日（土）	PM 園外散策（紅葉狩り）	吾妻地区、裏磐梯ほか	4名
	22日（月）	PM 園外散策（紅葉狩り）	昭和の森、土津神社ほか	5名
	24日（水）	PM 園外散策（紅葉狩り）	昭和の森、土津神社ほか	3名
	26日（金）	PM 園外散策（紅葉狩り）	吾妻地区、裏磐梯ほか	5名
	27日（土）	AM 園外散策（紅葉狩り）	リストル、運動公園ほか	4名
	28日（日）	AM 園外散策（紅葉狩り）	リストル、運動公園ほか	4名
	31日（水）	AM 園外散策（紅葉狩り）	長瀬地区、運動公園ほか	3名
11月	1日（木）	PM 園外散策（紅葉狩り）	猪苗代スキー場、天鏡台ほか	5名
	3日（土）	PM 園外散策（紅葉狩り）	亀ヶ城跡公園、土津神社ほか	5名
12月	15日（土）	もちつき会	ホーム食堂	93名
12月	17日（土）	クリスマス会	ホーム食堂	68名、ボランティア25名

16.長期入所・短期入所実績及び前年度比較表

平成30年度				平成29年度			
月	長期入所	短期入所	計	月	長期入所	短期入所	計
4	1751+583	598	2,932	4	2,306	577	2,883
	2,334						
5	1774+614	648	3,036	5	2,410	632	3,042
	2,388						
6	1781+600	602	2,983	6	2,256	584	2,840
	2,381						
7	1788+620	663	3,071	7	2,338	667	3,005
	2,408						
8	1795+608	616	3,019	8	2,285	657	2,942
	2,403						
9	1671+576	616	2,863	9	2,276	639	2,915
	2,247						
10	1761+580	596	2,937	10	2,363	659	3,022
	2,341						
11	1737+545	635	2,917	11	2,262	641	2,903
	2,282						
12	1853+573	644	3,070	12	2,346	668	3,014
	2,426						
1	1779+602	571	2,952	1	2,332	659	2,991
	2,381						
2	1563+528	526	2,617	2	2,089	581	2,670
	2,091						
3	1778+611	571	2,960	3	2,343	650	2,993
	2,389						
計	28,071	7,286	35,357	計	27,606	7,614	35,220
前年比		長期入所	465	短期入所	(328)	計	137

[長期入所]

○実績:延465人増

○実績アップの要因

- ・昨年度まで在籍した定期的入院者が退所し、入院者の数が減った。しかし、入院期間は長くなっていることと退院時に褥瘡形成されての退院者が多く、ケアも多くなっている。
- ・昨年度と退所者数は20人と同じ数値である。空床も期間はなかなか短くならない。
- ・看取りが増えた。(入院せずに、施設で出来る範囲での最後を希望される方が増えている。)

[短期入所]

○実績:延328人減

○実績ダウンの要因

- ・セミプライベート工事での定員減については60人強と想定したダウンほどではなかった。
- ・特にロング利用者が当施設の長期入所や他施設の長期入所などが多く、抜けた穴を埋められない状況だった。
- ・冬期間インフルエンザ関係のキャンセルが多く、ピークが長い状況が。風邪の流行もあった。

[その他]

- ・地域へのアピールとして、介護教室などを開催している。(介護講座講師派遣、地域ふれあい事業等)
- ・地域密着型ユニットケアで報酬アップがあったが、その他のすべての事業所が報酬ダウンだった。

## ii 健康支援領域

### 一 事業計画の現況 : 看護

部署名	第一事業課健康支援領域（看護）		
課長	笠間順子	課長	
主任	-	リーダー	鈴木リサ
報告書作成者	笠間順子	作成日	平成31年4月29日

#### ■事業報告または計画の進捗状況

##### 1. 一人ひとりの尊重と自立支援

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	一人ひとりの尊重と自立支援	
②事業目的	個別性を踏まえた自立支援。	
③実施日時	常時。	
④実施場所・会場	いなわしろホーム入所生活空間。	
⑤事業内容	より良いコミュニケーションを図る。	
⑥実施プログラム	情報共有。	
⑦参加人数	入所者ならびに全職員。	
⑧事業目的の達成点	情報共有により利用者の個別性が把握ができています。	
⑨事業目的の未達成点	多職種との情報共有や意思疎通困難者とのコミュニケーション不足。	
⑩実施上の問題点	意思疎通困難者への対応。	
⑪次回への引継ぎ事項	意思疎通困難者とのコミュニケーション方法について学習する。	

##### 2. 早期健康支援

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	早期健康支援	

②事業目的	健康維持。
③実施日時	常時。
④実施場所・会場	いなわしろホーム入所生活空間。
⑤事業内容	異常の早期発見、早期治療早期退院。
⑥実施プログラム	バイタルサインおよび一般状態の把握。異変時の早期対応。
⑦参加人数	全職員。
⑧事業目的の達成点	小さな異常にも気づき、早期対応につながっている。
⑨事業目的の未達成点	数値の異常が出ず対応が遅れることもあり長期入院になる
⑩実施上の問題点	利用者個々の通常状態の把握不足。
⑪次回への引継ぎ事項	数値に限らない利用者個々の通常状態の把握。正常・異常についての周知。

### 3. 認知症ケアとターミナルケア

○：報告 △：計画	△	平成31年3月までに計画実施予定。
①事業名	認知症ケアとターミナルケア	
②事業目的	安心・安全な看護ケアの提供。	
③実施日時	常時	
④実施場所・会場	いなわしろホーム入所生活空間。	
⑤事業内容	マニュアルの見直し及び勉強会実施	
⑥実施プログラム	下期に勉強会実施 -	
⑦参加人数	第一事業課健康支援領域職員。	
⑧事業目的の達成点	内部研修での勉強会ができた	
⑨事業目的の未達成点	マニュアル見直し	
⑩実施上の問題点	外部研修などへの未参加	
⑪次回への引継ぎ事項	外部研修などへの参加	

### 4. 家族・多職種との連携

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	家族・多職種との連携	
②事業目的	信頼関係の構築。	
③実施日時	随時。	
④実施場所・会場	いなわしろホーム入所生活空間。	
⑤事業内容	記録の充実ならびに多職種との情報共有。	
⑥実施プログラム	ほのぼのNEXTを活用したケア記録と情報の共有。	
⑦参加人数	全職員。	
⑧事業目的の達成点	特変時以外の通常状態についても説明できている。	
⑨事業目的の未達成点	情報の未記入。	
⑩実施上の問題点	会話での連携のみも多い。	
⑪次回への引継ぎ事項	常にPC入力を意識する。	

## 5. 職員のスキルアップ

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	職員のスキルアップ	
②事業目的	安全安心なケアの提供ならびに地域への情報発信ならびに自己啓発意識の向上。	
③実施日時	随時。	
④実施場所・会場	施設内外。	
⑤事業内容	各研修会への参加（感染症予防、褥瘡ケアなど）	
⑥実施プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスに基づいた研修参加。</li> <li>・地域ふれあい事業への参加協力。</li> <li>・職員勉強会への参加ならびに自主学習。</li> </ul>	
⑦参加人数	第一事業課健康支援領域職員。	
⑧事業目的の達成点	職員勉強会内容や自主学習の周知が図られている。	
⑨事業目的の未達成点	スキルアップの意識が低い職員もいる。	
⑩実施上の問題点	職員個々のニーズの把握不足、研修参加不足 研修参加しやすい環境作りが必要	
⑪次回への引継ぎ事項	職員個別面談でのニーズの把握に努め、研修参加計画の立案を図る。 研修参加しやすい環境作りにする。	

### ■その他

- ・入所者重症化にともない介護士の喀痰吸引は必須になってくる為来年度はその指導を実施する。

### ■リーダー所見

- ・健康管理においてはインフルエンザシーズンになる12月～3月は全員検温（職員・入所者・面会者）で取組み早期発見・対応で感染症の集団発症はなかった。今後も時期に合わせた対応で健康維持に努めていく。また、入院になると長期になる場合もあり相談員を主に家族・病院と連携を図り早期退院に向け今後も取り組んでいく。
- ・外部研修参加があまりできなかった為研修参加の環境を整備し研修の充実を図る

## 二 事業計画の現況：栄養

部署名	第一事業課健康支援領域（栄養）		
課長	笠間順子	課長	橋谷田一枝
主任	-	リーダー	鈴木リサ
報告書作成者	小坂橋栄子	作成日	平成31年4月29日

### ■事業報告または計画の進捗状況

#### 1. 自立支援への取り組み

○：報告 △：計画	△	継続実施。
-----------	---	-------

①事業名	自立支援への取り組み
②事業目的	利用者の自立支援。
③実施日時	随時。
④実施場所・会場	いなわしろホーム生活空間。
⑤事業内容	1 食事ケア 2 水分ケア 3 排泄ケア
⑥実施プログラム	1 食事姿勢や食事形態の見直しなどを行い、咀嚼動作をしっかりと行えるように、常食提供を目指す。経口摂取の可能性に関する評価などを行い「口から食べること」を支援する。 2 一日の水分摂取量が利用者個別の目標に近づくように、水分の種類・形態・提供時間などを検討する。 3 食物繊維を加える、ヨーグルトなどの提供回数を増やすなどし、腸内環境を整えることにより自然な排泄を目指す。
⑦参加人数	利用者および全職員。
⑧事業目的の達成点	-
⑨事業目的の未達成点	-
⑩実施上の問題点	-
⑪次回への引継ぎ事項	-

## 2. 栄養ケアマネジメントの実施

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	栄養ケアマネジメントの実施	
②事業目的	利用者の自立支援。	
③実施日時	随時。	
④実施場所・会場	いなわしろホーム生活空間。	
⑤事業内容	1 栄養ケアの提供 2 経口摂取維持の取り組み 3 栄養改善サービスの提供	
⑥実施プログラム	1 利用者の体重の増減、栄養状態・喫食状況などを把握し、低栄養状態の予防または改善を行う。定期的にモニタリングを行い、常に適正な「栄養ケア」の手供に努める。 2 摂食・嚥下機能や認知機能が低下しても、多職種協働で会議が食事観察などを行い「口からおいしく食べること」を支援する。 3 デイサービスの職員や担当ケアマネと連携し、栄養改善の必要な利用者に、栄養ケアを作成し、栄養改善サービスを提供する。	
⑦参加人数	利用者および全職員。	
⑧事業目的の達成点	-	
⑨事業目的の未達成点	-	
⑩実施上の問題点	-	
⑪次回への引継ぎ事項	-	

## 3. 安心・安全な食事の提供

○：報告 △：計画	△	継続実施。
-----------	---	-------

①事業名	安心・安全な食事の提供
②事業目的	利用者の健康支援。
③実施日時	随時。
④実施場所・会場	いなわしろホーム生活空間。
⑤事業内容	1 安全な食事の提供 2 衛生管理 3 非常食等の備蓄管理
⑥実施プログラム	1 安全な食材を仕入れ、自分自身の体調管理を行い、安全な食事の提供に努める。 2 衛生管理の基本を順守し、温冷配膳車・ブラストチラーなどを使い、適正な温度・調理時間を守ることで、食中毒や感染症を予防し衛生的で安全な食事を提供する。 3 非常時を想定し、食材や使い捨て容器など必要な物を備蓄管理する。
⑦参加人数	全職員。
⑧事業目的の達成点	-
⑨事業目的の未達成点	-
⑩実施上の問題点	-
⑪次回への引継ぎ事項	-

#### 4. 美味しく喜ばれる食事の提供

○：報告 △：計画	△	継続実施。
① 事業名	美味しく喜ばれる食事の提供	
② 事業目的	食事満足度の向上。	
③ 実施日時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望食（麺類）：毎月2回</li> <li>・行事食：季節・節句</li> <li>・おやつバイキング：長期入所4月29日・10月13日、DS9月20～23日・3月18～20日</li> <li>・その他：随時</li> </ul>	
④ 実施場所・会場	いなわしろホーム生活空間。	
⑤ 事業内容	1 楽しい食事の演出 2 美味しい食事の提供	
⑥実施プログラム	<p>1 食べることの楽しみを感じられるよう、季節や行事にあった食事、希望食やバイキング食などを提供する。盛付を工夫したり、手作りおやつを提供し楽しくおいしい時間を演出する。そして、施設内に行事食などの写真を掲示する。さらに、施設のホームページに写真などをブログとして情報発信していく。</p> <p>2 温冷配膳車を活用し、食物のおいしい温度を保つことで食の満足度の向上を目指す。</p>	
⑦参加人数	全職員。	
⑧実業目的の達成点	-	
⑨実業目的の未達成点	-	
⑩実施上の問題点	-	
⑪次回への引継ぎ事項	-	

■その他

特になし。

■担当者所見

他職種職員や委託業者と連携し、安全で安心な食事提供が来ている。感染症対策なども対応をマニュアル化し各部署に掲示・配布し迅速かつ的確に対応できている。

2階が年度の途中からユニットとなり、2階食堂で炊飯をしたり、レクおやつを提供したりしている。今後も連携しより良いケアに向けて取り組みたい。

三 その他

平成31年3月31日現在

1.病院受診状況

月 診療科	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
内 科	12	11	13	12	9	11	10	12	13	11	5	9	128
神 経 内 科	1	1	1	2	2	2	5	0	1	1	0	0	16
外 科	2	8	3	0	5	6	4	5	3	2	5	1	44
整 形 外 科	2	5	2	4	2	2	0	0	2	5	1	4	29
形 成 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳 外 科	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
泌 尿 器 科	2	0	1	0	2	1	0	2	0	3	0	1	12
消 化 器 科	0	0	0	3	0	0	0	0	2	1	2	0	8
眼 科	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
婦 人 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
循 環 器 科	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3
皮 膚 科	2	2	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0	10
外傷再建外科	2	2	2	1	1	2	0	0	1	1	0	1	13
精 神 科	9	10	10	8	8	9	11	8	8	8	8	10	107
歯 科	5	10	3	5	2	3	10	2	2	0	5	2	49
救 急	2	1	0	1	0	2	0	0	0	0	1	0	7
計	40	51	40	38	31	38	41	30	33	32	27	28	429

## 2.家族対応受診状況

月 病院名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
会津中央病院	2	0	1	2	1	1	1	3	2	5	1	2	21
太田熱海病院	2	2	1	3	4	4	3	0	1	1	0	0	21
竹田総合病院													0
会津医療センター	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
計	6	4	4	6	5	5	4	3	3	6	1	2	49

## 3.入院状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	4	2	0	3	3	5	1	1	5	3	2	1	30
延日数	74	40	0	85	42	193	43	10	155	162	17	7	828

### ■受診状況について

・ほぼ嘱託医の小川医院受診が多く受診に対する時間も短くなっている。町外受診においては家族

### ■入院状況について

・昨年に比べ入院者数 17 人（26 人）、延べ日数も 313 日（687 日）に減少、早期対応における結果と考えられる。

■感染症について：疥癬疑い者が 1 名あったのみで他感染症発症はなかった。（町立 HP からの退院時）

## 3.栄養管理状況

### (1) 食事摂取基準算定

年齢	性別	人数	熱量 (kcal)		蛋白質 (g)	
			推奨量	人数計	推奨量	人数計
50-69	男	4	2,100	8,400	60	240
	女	1	1,650	1,650	50	50
70-	男	15	1,850	27,750	60	900
	女	57	1,450	82,650	50	2,850
推定平均必要量				1,564		52
摂取基準				1,550		54

## (2) 月別提供料

区分 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
熱量 (kcal)	1,668	1,651	1,645	1,629	1,632	1,637	1,631	1,650	1,651	1,644	1,638	1,636	1,643
蛋白質 (g)	61.4	59.7	59.3	58.5	59.7	59.3	58.4	60.2	59.3	59.3	58.5	58.8	59.4
脂肪 (g)	44.6	42.2	42.4	40.6	40.9	41.0	41.4	42.0	42.7	43.0	41.3	42.5	42.1
カルシウム (mg)	631	598	635	610	612	610	621	627	589	590	589	603	610
鉄 (mg)	7.6	7.7	7.6	7.4	7.3	7.5	7.3	7.3	7.2	7.1	7.3	7.3	7.4
ビタミンC (mg)	79	82	77	83	86	80	82	77	80	77	82	74	80
塩分 (g)	8.6	8.4	8.4	8.0	8.1	8.6	8.2	8.5	8.6	8.5	8.6	8.7	8.4

## (3) 摂取状況

		上期		下期	
		人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
主食	飯	15	19	15	19
	おにぎり	0	0	0	0
	軟飯	14	18	16	20
	全粥	27	35	29	36
	ミキサー粥	11	14	6	8
	経管	10	13	14	18
	計	77	99	80	101
副食	常食	19	28	19	29
	きざみ食	18	29	21	32
	超きざみ食	19	28	20	30
	ミキサー食	11	16	6	9
	計	67	101	66	100
提供量	常量	8	12	7	11
	ハーフ	20	30	16	24
	主食ハーフ食	13	19	16	24
	主食小盛	26	39	27	41
	主食大盛	0	0	0	0
	計	67	100	66	100
代替、栄養補助食品	ヨーグルト	8	12	5	8
	ヤクルト	13	19	11	17
	増粘剤	24	36	22	33
	栄養補助食品ゼリー	3	4	8	12
	栄養補助食品ドリンク	1	1	0	0

## (4) 療養食ほか

項目		上期	下期
糖尿病食	1,400kcal	0	0
	1,200kcal	1	4
	1,000kcal	3	3
塩分制限食		0	1
経口維持加算		26	21
経口移行食		0	1
ワーファリン食		2 <sub>44</sub>	3

(5) 栄養ケアマネジメント

程度	上期		下期	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
低リスク	42	55	37	46
中リスク	30	39	37	46
高リスク	5	6	6	8

リスクの内容 (複数あり)		上期	下期
中リスク	BMI低値 (18.5未満)	16	21
	体重減少率高値 (3~5%未満/月)	2	6
	アルブミン低値 (3.6g/dl以下)	17	24
	食事摂取量不良 (75%以下)	1	1
	経管栄養食	11	14
高リスク	体重減少率高値 (5%以上/月)	1	1
	アルブミン低値 (3.0g/dl以下)	4	1
	褥瘡形成	0	4

内容		年度内のリスク変動					
		高→中	中→低	高→低	低→中	中→高	低→高
アルブミン値	改善	1	1				
	低下				3	1	
BMI	改善						
	低下				2		
褥瘡	治癒						
	形成					2	2
体重減少率	改善	2					
	高値					2	
経管栄養	終了						
	開始						

## IV 第二事業課事業報告書

### i 在宅福祉支援領域

#### 一 事業計画の現況

部署名	第二事業課在宅福祉支援領域	課長	一ノ瀬慶子
リーダー	福地喜裕	リーダー	小椋みゆき(代理)
報告書作成者	福地喜裕・小椋みゆき	作成日	平成31年4月1日

#### ■事業報告または計画の進捗状況

##### 1. 自然と笑顔が見られる楽しいムード形成

○：報告 △：計画	○
①事業名	自然と笑顔が見られる楽しいムード形成
②事業目的	1) 利用者・職員が笑顔になることで心身共に健全な生活を送る事ができる。 2) 利用者がデイサービスにまた行きたいと思う。 3) 職員がデイサービスで一所懸命に働きたいと思う。
③実施日時	提供日全日
④実施場所・会場	いなわしろホームデイサービスセンター
⑤事業内容	1) 健康管理・清潔保持 2) 安全安心な環境・安全安心なサービスの提供 3) お互いを理解できるコミュニケーションの形成 4) 楽しくて意味のある机上課題・あそびりテーション・集団体操・総合事業の実施 5) 当デイサービスでしか体験・経験できないコトの創造 6) 思いやりのある職員交流
⑥実施プログラム	1) 家族とのコミュニケーション、バイタルチェック、状態のフィードバック、入浴の提供、整容行為の提供 2) 環境整備、老朽化した備品入替え、ニードに合わせた備品の購入 3) 傾聴、頻繁なブリーフィング、領域会議 4) 机上課題・あそびりテーション・集団体操・総合事業 5) 新しいあそびりテーション・総合事業内容の創造 6) 3) に同じ
⑦参加人数	利用者・家族 第二事業課在宅福祉支援領域職員
⑧事業目的の達成点	1) 利用者がぼーっとしている時間が削減され、笑顔や時には真剣な表情で物事に取り組む時間は増加している。 2) デイサービスに行きたくないという声は殆ど聞かれなくなっている。 3) 職員同士のトラブルはほとんどなくなり、できないではなく、ど

	うしたらできるかという思考に徐々に変化しつつある。
⑨事業目的の未達成点	1) 上期に引き続き、職員全員が事業計画を理解したうえで取り組みが行えているとは言えない状況である。
⑩実施上の問題点	⑨に同じ。
⑪次回への引継ぎ事項	⑨に同じ。

## 2. 利用者には何が起きていて、何が必要なのか理解する

○：報告 △：計画	○
①事業名	利用者には何が起きていて、何が必要なのか理解する
②事業目的	利用者には何が起きていて、何が必要なのか理解することで、必要十分なサービスを提供し、利用者・職員共に最大限の利益を得る
③実施日時	提供日全日
④実施場所・会場	いなわしろホームデイサービスセンター、利用者宅、関係各所
⑤事業内容	1) ケアプランの理解促進 2) 通所介護計画書・予通所介護計画書の理解促進 3) 個別機能訓練計画書の理解促進 4) 居宅訪問の実施
⑥実施プログラム	1) 領域会議での啓発 2) ケースファイル確認の啓発 3) 頻繁なブリーフィング 4) 居宅訪問
⑦参加人数	第二事業課在宅福祉支援領域職員
⑧事業目的の達成点	上期に続き徐々に利用者に必要な介護量やコミュニケーションを理解している職員は増えている。それに伴い、過介護が減少する事で身体の負担が減っている職員もいる。
⑨事業目的の未達成点	各計画書やケースファイルを確認するという作業が定着していない。感覚や経験でクリアできる職員もいるが、不十分な情報で対応してしまう職員も見受けられる。
⑩実施上の問題点	⑨に同じ。
⑪次回への引継ぎ事項	⑨に同じ。

## 3. 連携を強化し内容の濃いサービスを提供する

○：報告 △：計画	○
①事業名	連携を強化し内容の濃いサービスを提供する
②事業目的	当事業所以外の関わる全ての人間から情報を集約し、サービスの質を向上させる。また、当デイサービスの特色を理解して頂き利用者拡大へ繋げる
③実施日時	当事業所以外の人間と関わる日の全日
④実施場所・会場	-
⑤事業内容	1) 担当国会議・連携会議等での積極的な情報交換

	2) ご家族・ケアマネージャー・その他関係者との強い信頼関係の形成 3) 地域への情報発信(特色・総合事業・ターミナル・障害分野) 4) 地域ケア会議への参加
⑥実施プログラム	1～2) 担当者会議・連携会議 3) デイサービス通信・下半期へ向けての障害分野への取り組み 4) 地域ケア会議への参加
⑦参加人数	-
⑧事業目的の達成点	他事業所のケアマネージャーから「リハビリに力を入れているデイサービス」という紹介で実調依頼が来ることが殆どになっている。
⑨事業目的の未達成点	引き続き情報量は増加しているが、統合と解釈を明確に出来る職員が足りていない印象。また、新規依頼はあるものの、キャンセルの調整等で実績は概ね維持にとどまる。
⑩実施上の問題点	⑨に同じ
⑪次回への引継ぎ事項	⑨に同じ

#### 4. 職員の資質向上を図る

○：報告 △：計画	○
①事業名	職員の資質向上を図る
②事業目的	1) 生涯学習であるという認識を持つ職員を育成する。 2) 自身の職務分掌を理解し、根拠を元に説明でき、柔軟に何事にも対応できる職員を育成する。
③実施日時	提供日全日、内部・外部研修開催日
④実施場所・会場	-
⑤事業内容	1) 利用者・環境・法改正に柔軟に対応するマニュアルの作成 2) 個別研修計画及び目標達成評価表に基づいた内発的な研修への参加
⑥実施プログラム	1) 意識したOJT、内部研修参加、頻繁なブリーフィング 2) 職種別のマニュアル作成 3) 外部研修への参加 外部研修(平成30年度) 1、知事との集い 2、平成30年度認知症対応研修* 県社協開催 3、他職種連携研修会* 猪苗代町・バンネット共同開催 4、平成30年度キャリアパス制度理解研修会* 県社協主催 5、介護保険制度改正に関わる集団指導 6、平成30年度認知症介護実践者研修 7、平成30年度福祉職員初任者研修* 県社協主催 8、障害福祉事業施設見学* 北塩原社協へ 9、平成30年度東北ブロック老人福祉施設研究会 10、平成30年度在宅部会会津支部地区別職員研修会

	11、平成30年度老人福祉施設職員研修会Ⅱ 12、会津地区老人福祉施設協議会施設部会第1回テーマ別研修会
⑦参加人数	第二事業課在宅福祉支援領域職員
⑧事業目的の達成点	分からない事があればすぐに聞く調べるという習慣ができています。
⑨事業目的の未達成点	根拠を元に説明が出来る職員が増えつつあるが、引き続き経験則を元にした対応も一部見られてる。主観的・客観的な評価を合わせて目標を設定していくというプロセスを理解、実施している職員は数少ない。
⑩実施上の問題点	⑨に同じ。
⑪次回への引継ぎ事項	⑨に同じ。

## 5. 年間行事等

○：報告 △：計画	○
①事業名	年間行事等
②事業目的	季節に合わせたレクリエーションや会を行うことで、身体能力はもちろんのこと、認知能力や生活感覚の維持向上を図る。
③実施日時	季節に合わせた会の実施、適宜誕生日付近に開催。
④実施場所・会場	デイサービスラウンジ。
⑤事業内容	隔週交代での季節に合わせたレクリエーション。誕生会。選択食。おやつバイキング。季節に合わせた催し。
⑥実施プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を動かす運動と手先を使っての作品制作を交互に実施。</li> <li>・適宜誕生会の開催。</li> <li>・2か月に一回選択食の提供。</li> <li>・春と秋におやつバイキングの実施。</li> <li>・4月お花見、6月運動会、8月夏まつり、9月敬老会。</li> </ul>
⑦参加人数	-
⑧事業目的の達成点	各項目予定通り実施し、心身機能・能力の維持向上に寄与できている
⑨事業目的の未達成点	なし。
⑩実施上の問題点	僅かではあるが、利用者より職員が作品制作の中心になっている取り組みがあった。
⑪次回への引継ぎ事項	⑩に同じ。

### ■その他

特になし。

### ■リーダー所見

【福地】利用者は笑顔で一日楽しくサービスを利用でき、職員も明るく業務に取り組むことでサービスの基盤を強化できる事を平成30年度の一番の目標として取り組んできた。職員の異動によって資質の向上が途切れる事があっても徐々に風土の醸成が図られ、マニュアルが整備できたことで引き継ぎにさしあたり大きな問題にはなっていない印象がある。利用者の笑顔が増えたのは勿論のこと、居宅介護支援事業所のケアマネージャーからリハビリに力を入れているデイサービスなのでと紹介を受けるようになったことも取り組みが成功しつつあることを裏付けている。次年度も更なる風土の醸成とサービス

強化に努め、法人の目標達成に寄与していきたい。

【小椋】訪問時、バイタルチェックをして利用者の体調に合わせた入浴を実施してきた。終末期の利用者が4名おり、自宅での最後を迎える為家族・ケアマネージャー・訪問看護と情報・状態を共有し最後まで入浴できる様努めた。新規利用者獲得の為、各事業所へ訪問入浴のPR活動をした。平成30年10月、31年3月に新規利用者をそれぞれ一名ずつ迎えることができた。今後も家族の介護負担の軽減を図り、安全かつ楽しく利用して頂けるよう質の良いサービスを提供していく。

## 二 その他

### 1.要介護度別利用実績

要介護度	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	小計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援1	男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	5	5	5	5	5	6	7	7	7	8	7	6	73
	小計	5	5	5	5	5	6	7	7	7	8	7	6	73
要支援2	男	5	5	6	6	6	6	6	6	5	5	5	6	67
	女	8	8	8	8	7	7	7	9	9	9	9	9	98
	小計	13	13	14	14	13	13	13	15	14	14	14	15	165
要介護1	男	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	7	79
	女	23	24	26	25	27	27	27	29	27	27	27	27	316
	小計	30	31	33	32	34	34	33	35	33	33	33	34	395
要介護2	男	4	4	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	17
	女	25	25	24	26	27	27	26	25	24	24	22	24	299
	小計	29	29	25	27	28	28	27	26	25	24	23	25	316
要介護3	男	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	5	41
	女	12	12	13	15	14	13	15	13	12	12	13	14	158
	小計	15	15	16	18	17	16	18	16	16	16	17	19	199
要介護4	男	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	33
	女	7	8	7	6	5	5	5	4	4	3	2	2	58
	小計	9	10	9	9	8	8	8	7	7	6	5	5	91
要介護5	男	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	5
	女	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	12
	小計	2	3	3	1	1	1	1	2	2	1	0	0	17
合計	男	22	22	20	20	20	20	19	20	20	18	19	22	242
	女	82	85	86	87	87	88	89	89	85	85	81	83	1027
	小計	104	107	106	107	107	108	108	109	105	103	100	105	1269
利用者 延人数	男	152	162	137	141	141	134	134	138	129	121	116	133	1638
	女	534	538	561	577	545	549	572	556	558	537	489	552	6568
	合計	686	700	698	718	686	683	706	694	687	658	605	685	8206

### 1.月別利用実績

項目\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用者実数	17	18	18	18	18	19	19	16	15	14	12	14	108
延実施日数	16	21	17	18	18	16	18	18	16	16	15	17	106
延利用回数	72	86	77	72	69	60	72	65	63	52	44	56	436
1日平均	5	4	4	4	3	5	4	4	4	3	3	3	4
登録者数	17	18	18	18	18	19	19	16	15	15	13	14	108

### 2.地区別登録利用者

性別\地区	吾妻	長瀬	翁島	猪苗代	千里	月輪	計
男	0	0	0	2	0	1	3
女	2	2	3	2	0	2	11
計	2	2	3	4	0	3	14

### 3.年齢別登録利用者

性別\年齢	～59	60～69	70～79	80～89	90～	計
男	2	0	1	1	0	4
女	2	0	0	1	7	10
計	4	0	1	2	7	14

### 4.車両運行実績

(単位：km)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
走行距離	606	763	670	708	671	651	703	659	623	609	648	623	

事業実施日 106 日 平均走行距離 678 km/月

### 5.要介護度別利用者

要介護度	1	2	3	4	5	障害者	計	要支援
人数	1	0	1	4	4	4	14	0名

"・登録利用者数実績は昨年とほぼ同じ。1日の平均利用回数 4.1回と前年度よりやや増加。

・自宅で家族の見守る中安心して入浴することができ、利用者および家族の安堵に繋がったと考える。

・今後も利用者のニーズに応えられるようサービスの提供に努めていきたい。"

## ii 居宅介護支援領域

### 一 事業計画の現況

部署名	第二事業課在宅福祉支援領域	課長	一ノ瀬 慶子
報告書作成者	主任 安部 真由美	作成日	平成31年4月30日

#### ■事業報告または計画の進捗状況

##### 1. 在宅生活継続への支援

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	在宅生活継続への支援	
②事業目的	利用者の在宅生活継続。	
③実施日時	1) 利用者宅等訪問時。 2) サービス担当者会議等。	
④実施場所・会場	利用者宅、入院している病院等。	
⑤事業内容	1) 利用者の思いを尊重した継続的支援をするためのアセスメントと適切な居宅プランの作成。 2) チームアセスメントからチームアプローチを目指す。	
⑥実施プログラム	居宅訪問等によるアセスメントとモニタリング等。	
⑦参加人数	本人および家族ならびにサービス提供事業所担当者。 第二事業課居宅介護支援領域職員。	
⑧事業目的の達成点	1) 適切な居宅プランとなるよう努力している。 2) 総合的で質の高いサービス提供を図ることができる。	
⑨事業目的の未達成点	1) 適切なアセスメントができていないか（漏れがないか）の判断が難しい。 2) 連携はとれているがチームアプローチまでは、なかなか至らない。	
⑩実施上の問題点	1) 適切な居宅プランかどうかの判断が難しい。（介護に充てることのできる予算もあるため。） 2) チーム形成（理解等）が難しく、解決策など細部のアプローチには至っていない。	
⑪次回への引継ぎ事項	利用者数の確保。	

##### 2. 医療機関との連携

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	医療機関との連携	
②事業目的	1) 利用者が退院後必要なサービスを円滑に受けられるよう支援する。 2) 医療ニーズが高い利用者について、主治医や訪問看護等の連携を図り、適切なサービス提供ができるよう努める。	
③実施日時	1) 入退院時等。	

	2) 訪問診療やサービス提供時、サービス担当者会議等。
④実施場所・会場	利用者宅、入院時の病院。
⑤事業内容	1) 退院調整ルールによる連携。 2) 主治医照会の活用、及び訪問看護等への照会確認等。
⑥実施プログラム	1) 入院時情報提供シートの送付等により情報共有。 2) 主治医照会の活用や必要に応じて時間を合わせて訪問等。
⑦参加人数	第二事業課居宅介護支援領域職員ならびに各医療機関。
⑧事業目的の達成点	1) 情報提供シート送付にて情報共有はできており、退院時に情報収集などもしやすくなっている。 2) 町内の病院の主治医との連携は比較的行うことができています。
⑨事業目的の未達成点	1) 退院時の連絡が来ない病院がある。 2) 総合病院の主治医との連携は難しくできていない。
⑩実施上の問題点	ムンテラ等になかなか参加できない。
⑪次回への引継ぎ事項	主治医照会等で主治医との連携に努める。

### 3. 地域社会との連携と協働

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	地域社会との連携と協働	
②事業目的	利用者の在宅生活継続ならびに地域福祉の増進。	
③実施日時	保険者や関係機関、各サービス提供事業所、居宅等訪問時。	
④実施場所・会場	保険者や関係機関、各サービス提供事業所等。	
⑤事業内容	保険者や関係機関、各サービス提供事業者等の連携を図り、地域福祉の相談窓口としての役割を果たす。	
⑥実施プログラム	情報収集や情報交換等。	
⑦参加人数	第二事業課居宅介護支援領域職員ならびに保険者、関係機関、サービス提供事業所。	
⑧事業目的の達成点	保険者や地域包括支援センター、各サービス提供事業所等との連携はできている。	
⑨事業目的の未達成点	民生委員等との交流が少ない。(必要時は民生委員等とも情報交換はしている。)	
⑩実施上の問題点	民生委員等との交流の場がない。	
⑪次回への引継ぎ事項	特に関係地区の民生委員等との交流を図っていく。	

### 4. 職員の資質向上等

○：報告 △：計画	△	継続実施。
①事業名	職員の資質向上等	
②事業目的	介護支援専門員として必要な知識の習得と情報収集を図り、スキルアップに努める。	
③実施日時	1) 5/22、8/8、11/15、2/14 2) 5/24 3) 7/13 4) 10/12、1/11 5) 10/2~11/3、11/12~1/10 6) 3/1 7) 2/28 3/27 8) 週1回	
④実施場所・会場	1) 地域福祉交流センター 2) 学びな 3) リステル猪苗代	

	4) 施設内会議室 5) ビッグパレット 6) 会津大学 7) 役場 8) 事務所内
⑤事業内容	職場内外の研修会への参加。 他法人の居宅介護支援事業所との共同の勉強会の実施。
⑥実施プログラム	1) 地域包括支援センター主催勉強会 2) 他職種連携研修会 猪苗代町保健福祉課 3) 猪苗代町保健衛生連絡協議会 4) 障がい福祉制度等勉強会 地域生活支援センターいなわしろ 事例検討会 5) 介護支援専門員、主任介護支援専門員更新研修 6) 現任認定調査研修会 7) 自立支援型地域ケア会議、栄養ケアマネジメント研修会 8) 利用者に関する情報等
⑦参加人数	1) 各3名 2) 5名 3) 1名 4) 10名 (居宅4名、他居宅1名、 施設長他5名)、5名 (居宅4名、他居宅1名) 5) 1名、2名 6) 3名 7) 1名、4名 8) 4名
⑧事業目的の達成点	1) ・出来るだけ多く、定期的に出席している。 ・その他の研修会については随時参加している。 ・利用者に関する情報又はサービス提供に当たっての留意事項に 係る部内会議において事例検討等を実施。各人にスキルアップ に繋げている。(毎週実施)
⑨事業目的の未達成点	研修やセミナー開催などがあっても思うように参加できない。
⑩実施上の問題点	時間が思うように取れないことが多い。
⑪次回への引継ぎ事項	特になし。

## ■その他

### ○平成30年度事業計画の反省と課題について

- ・本人や家族の意向を尊重し在宅生活の継続の支援を行うことについては、家族の意向を本人側に誘導的になってしまっていることは否めない。
- ・本人の意向の確認が困難なことも要因にはあるが、本人の自立支援、重度化予防の視点で支援を勧めて行くことの重要性を再確認した。
- ・更新研修はとても勉強になった。介護支援専門員としての知識不足と習得の必要性の再確認。医療知識不足、医療連携不足など。他、疾病、介護、リハビリ、看取り等。
- ・インフォーマルの視点に欠けてしまいサービス中心のケアプランとなっている。不足しているサービスは、家族やインフォーマルな社会資源の活用。視点の再確認。
- ・相談件数確保については、民生委員との関係性の構築や各地域で行っているサロンへ出向き、介護保険についての情報の発信、困っている利用者の発掘へ繋げていく。

## ■所感

町内の居宅介護支援事業所が増えたこともあり新規利用相談件数の伸び悩みがあった。

H31 2月より介護支援専門員が5名から4名へ減員となり一人当たりの利用者数は91%と

なった。介護支援専門員各人のスキルアップに務め、相談を希望される事業所を目指して  
いきたい。

## 二 その他

" 要介護状態となっても、利用者が住み慣れた自宅や地域において、その人らしく安心した生活を継続できるよう、利用者や家族の生活に対する意向や介護負担などを考慮に入れながら居宅サービス計画書を作成し、より良いサービスの提供ができるよう努めている。

事業実績については、以下のとおりである。"

### 1.要介護認定訪問調査実施状況

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
H29		28	26	20	32	28	32	36	30	26	25	17	2	302
H30		15	10	8	9	8	11	4	8	9	12	17	19	130

今年度上期の認定調査の実施状況については集計表の通りであり、行政からの調査依頼件数は、前年同期対比 43.0%となっている。H31 2月からは 3名体制で実施している。

### 2.居宅サービス計画作成実績

年度	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
H29		177	180	182	183	186	185	183	183	175	170	167	172	2,143
H30		167	170	171	171	169	170	164	157	154	153	140	144	1,930

今年度上期の計画作成件数実績は1,930件で前年同期対比 90.1%であり、介護支援専門員1人当たりの月計画作成平均件数は32.9件である。H31 2月からは 4名体制のため平均件数は35.5件である。

### 3.計画作成依頼登録数

性別	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	増減
男 性	継続	38	39	36	35	36	36	39	41	40	41	38	39	458	
	新規	1	1	1	1	0	4	2	0	2	3	1	0	16	
	終結	0	4	2	0	0	1	0	1	1	6	0	0	15	
	小計	39	36	35	36	36	39	41	40	41	38	39	39	459	
女 性	継続	169	164	161	166	163	161	161	161	151	152	144	141	1,894	
	新規	0	0	7	0	1	4	4	0	2	1	1	2	22	
	終結	5	3	2	3	3	4	4	11	1	9	4	3	52	
	小計	164	161	166	163	161	161	161	151	152	144	141	140	1,864	
合計		203	197	201	199	197	200	202	191	193	182	180	179	2,324	

## V 委員会報告

### 一 苦情解決委員会

委員会名	苦情解決委員会	委員長氏名	一ノ瀬慶子
報告書作成者	笠間 隆	作成日	平成31年 4月30日

#### ■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30. 5. 31	前年度事業報告、今年度事業計画	役割分担、毎月のご意見箱解錠。
6. 1	委員会スローガン、ご意見箱解錠	スローガン 「みんなの声からおもてなし」 担当者からの進捗状況報告
7. 2	ご意見箱解錠、重点項目取り組み	担当者からの進捗状況報告
8. 1	ご意見箱解錠、〃	担当者からの進捗状況報告 家族からの要望2件
9. 3	ご意見箱解錠、〃	担当者からの進捗状況報告
10. 1	ご意見箱解錠、〃	担当者からの進捗状況報告
11. 1	ご意見箱解錠、〃	担当者からの進捗状況報告 ユニットケアについて相談1件
12. 3	ご意見箱解錠、〃	担当者からの進捗状況報告 DS、SS 重要事項説明書不備による 指摘1件
H31. 1. 4	ご意見箱解錠、〃	担当者からの進捗状況報告
2. 1	ご意見箱解錠、〃	担当者からの進捗状況報告 洗濯衣類に関する相談1件
3. 1	ご意見箱解錠、第三者委員及び外部講師へ定期報告会開催	平成30年度実績報告 キラリ賞選考

#### ■重点項目

1. 利用者からの意見等に対する対応マニュアルの見直し
2. 情報発信
3. サービス向上の取り組み
4. 職員が称え合う「きらり賞」の検討

#### ■その他

##### ○苦情受付

- ・平成30年7月19日 さくら棟利用者家族よりケアについての要望あり
- ・平成30年7月 なでしこ棟利用者家族より室温設定について要望あり

##### ○第三者委員意見

- ・モラルの低下、接し方に工夫を凝らすために、職員自身が、高齢者の疑似体験して理解を

深める。

- ・職員全体会等で、表彰を行い、職員全体のレベルアップを図る。

### ■委員長所見

3月に第三者委員への定期報告を実施して情報公開に努めた。ご意見箱の開錠について、責任者が開錠するのが良い等の助言を委員より頂いた。

外部講師より、サービスの向上に努める為には、ご意見箱の環境作り、意見を取り上げる工夫が必要とのご指摘があり引き続き取組み、サービスの改善につなげたい。

以上

## 二 ケア向上委員会

委員会名	ケア向上委員会	委員長氏名	六角 千賀子
報告書作成者	六角 千賀子	作成日	平成31年4月1日

### ■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30.4.28	第一回委員会会議 委員長の選出、事業計画立案	重要項目の決定。
5.23	パット業者からの勉強会	2Fのみ（ネピアパット使用）
6.18	2Fからネピア勉強会の報告・使用 結果報告。(7/10/13)もネピアさん からの勉強会並びに実践指導あり。	利用者を選出し施行後の結果報告 今後の対策を検討する。
7.28	7/10/13の報告 熱中症・脱水予防の取組みについ て	選出（4人）使用の仕方や工夫の仕 方を検討する。 水分を飲水する方法や取組みを 検討する。
8.18	2Fのネピアパットの使用方法の報 告。 フロア毎に水分補給の取組みの 検討。 デモのリハパンツを準備した。	ひまわり）あじさい）使用のやり 方で問題なし。 フロアで工夫をし水分量を増やし ている。 *ノンアルコールの話しも提案あ った。
9.22	熱中症・脱水予防の対策と取組み	様々に工夫しF aへ促したり、飲 ませ方を工夫して飲水されてい る。
10.13	個別援助計画について。	いなわしろホーム独自の様式で施 行計画・取組み。
10.23	個別援助計画実践に向けての検討 会	各フロアへ用紙を準備し記入した 用紙をもとに実践計画の検討。

11. 16	個別援助計画書並びに 24 時間シートを基に実施された事の中間報告 今後の取り組みや対策と計画を検討する。	なでしこ：ケアプランの実施が始まってなかった。 ななかま・さくら：ケアプランの見直し中にて実施できなかった。 あじさい・ひまわり：24 時間シートの見直しにて実施されてない。
12. 22 H31. 1. 26	個別援助計画書並びに 24 時間シートを基に実施された中間報告 今後の取り組みを検討する。 個別援助計画並びに 24 時間シートを基に実施された報告(1 月分) 今後の取り組みを検討する。	各フロアで対象者を決め実施開始 2F: スタッフ不足にて実施出来ず 1 月から実施予定。 なでしこ: 伊藤ハツヨ様実施ならず来月に繰り越しする。 ななかま/さくら: 黒崎コノイ様 2F: 大堀壽様/桑原チヨ様
2. 25	個別援助計画並びに 24 時間シートを基に実施された報告(2 月分) 今後の取り組みを検討する。	なでしこ: 伊藤ハツヨ様 ななかま/さくら: 秋山春巳様実施ならず来月に繰り越し。 2 F: 菅沼節子様/宇南山タカ子様
3. 25	個別援助計画並びに 24 時間シートを基に実施された報告(3 月分) 今後の取り組みを検討する。	なでしこ: 遠藤俊子様 ななかま/さくら: 秋山春巳様 2 F: 対象者が未定だった。

#### \* 事業計画の経過

- ・ネピア業者のパットの使用は、まずは 2 F から使用、業者からの勉強会にて現在使用中。当てからの工夫等実践で習い施行中。
- ・リハビリパンツの方で普通の布パン使用についてはまだ保留状態。
- ・熱中症や脱水に関して F a の協力や飲ませ方など工夫し水分量の改善をされている。
- ・個別援助計画に関しては各フロアの担当者全員にケアチェック施行しチェック用紙を基にこれから施行の予定。
- ・ただし、2 F フロアは 24 時間シートを基に施行する予定。

#### ■ 委員長所見

- ・ネピア業者のパットや個別援助計画などで現場は様々な工夫の基、施行されている
- ・2 F と 1 F の違いがあり各フロアのスタッフも戸惑っている。
- ・特に 2 F はユニットケアの為、24 時間シートで行うが様々な事で戸惑っている様子。
- ・日々の生活のケアで焦らずに事故のないように施行をしていきたい。
- ・下半期からはスタッフもケアに関して充実し利用者に対しても配慮がされてきた。
- ・オムツに関しては 2 社のパットを利用して行っていた。
- ・1 F は徐々に浸透されておりケアも充実して傾向が見られる。
- ・2 F スタッフ間で連携が上手く云ってなく進んでなく次年度に引き継ぐ。

### 三 ボランティアマネジメント委員会

委員会名	ボランティアマネジメント委員会	委員長氏名	馬場真
報告書作成者	馬場真	作成日	平成31年4月1日

#### ■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30.7.10	会津磐梯山総踊り参加について	当日の流れについての確認。

#### ■事業報告または計画の進捗状況

##### 1. 磐梯山総踊り参加

○：報告 △：計画	○
①事業名	磐梯山総踊り参加
②事業目的	地域貢献。
③実施日時	平成30年7月29日18:00～20:00
④実施場所・会場	町内中央商店街。
⑤事業内容	磐梯山総踊りへの参加。
⑥実施プログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法被の事前配布。</li> <li>・如風庵前集合。</li> <li>・豆絞りとうちわの配布。</li> <li>・ホーム幟を携えての磐梯山総踊り参加。</li> <li>・参加者への軽食支給。</li> </ul>
⑦参加人数	ご家族含む36名。
⑧事業目的の達成点	本年は晴天に恵まれ、賑やかに行われました。
⑨事業目的の未達成点	-
⑩実施上の問題点	-
⑪次回への引継ぎ事項	-

#### ■委員長所見

天候が心配でしたが、本年は晴天に恵まれ盛大に祭りが執り行われ、参加者も楽しく参加されました。

### 四 リスクマネジメント（身体拘束等適正化対策検討）委員会

委員会名	リスクマネジメント 身体拘束等適正化検討委員会	委員長氏名	佐瀬 健一
報告書作成者	佐瀬 健一	作成日	平成31年4月1日

## ■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30・5・1	事業目標・年間計画・委員長選出	リスクマネジメント研修・身体拘束に関する研修会について-
H30. 6・21	身体拘束等適正化指針作成について	指針の作成及び身体拘束等適正化検討委員会の構成メンバーの明確化について-
H30・7・31	ヒヤリハット報告書の書式見直しについて	ヒヤリハット報告書の簡潔明瞭化について-
H30・8・29	ヒヤリハット報告書の書式見直しについて 身体拘束検討について	ヒヤリハット報告書の簡潔明瞭化について-
H30・11・30	ヒヤリハットと事故の区分及び基準について 身体拘束検討について	ヒヤリハットと事故の区分及び基準書を当施設新バージョン作成
H31・1・31	ヒヤリハットと事故の区分及び基準の追加について 身体拘束検討について	ヒヤリハットと事故の区分及び基準書の追加項目作成
H31・2・25	ヒヤリハットと事故の区分及び基準の追加について	ヒヤリハットと事故の区分及び基準について周知
H31・2・25	ヒヤリハット報告と事故報告の年間の統計について 身体拘束検討（スピーチロック）について	年間のヒヤリハットと事故の振り返りについて 身体拘束検討（スピーチロック禁止）

## ■事業報告または計画の進捗状況

- ・サービス利用時における高齢者の危険に関する説明書・同意書を入所時に記入。  
（窓口はケアマネージャー）未記入者の確認し記入して頂く。
- ・身体拘束等適正化委員会で身体拘束について3ヶ月ごとに1回必ず委員会を開催する。
- ・特別養護老人ホーム いなわしろホーム 身体拘束等適正化指針  
（平成30年4月1日作成）

## ■委員長所見

- ・平成30年7月に外部研修で平成30年度福島県身体拘束廃止推進員養成研修会に委員長が申込みするも申込み多数の為、受講できず。次年度に再申込み予定。
- ・内部研修①は平成30年6月25日～27日職員全体会で身体拘束等適正化指針について研修。
- ・内部研修②は平成30年10月9日～13日職員全体会で身体拘束の減算について研修。
- ・ヒヤリハット報告が出しやすい環境づくりをして問題点を改善する事で事故を防いでいく体制づくりを行う為、現在、ヒヤリハットの報告書の書式の見直しやヒヤリハット

までではないが事故防止に繋がる事を簡単に記入できる報告書を委員会で検討中。

- ・平成30年11月21日 福島県身体拘束推進セミナー研修に出席～佐瀬健一  
研修内容は身体拘束廃止する為に必要な方策など（復命書参照）

・身体拘束のスピーチロックについて。利用者の尊厳を奪わないケアについて取り組みを行っている。月毎に禁止ワードを決めて取り組みを行っている。利用者の「そのひとらしさ」を大切にケアに心がける。今後については職員がフロアやユニットでお互いに注意できるようにする。

良いフロア、ユニットには表彰等を検討中。

職員のモチベーションが一番大事なので、お互いストレスが無い施設を目指す。

## 五 安全衛生委員会

委員会名	安全衛生委員会	委員長氏名	安部真由美
報告書作成者	安部真由美	作成日	平成31年4月30日

### ■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30. 4/20	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員長、副委員長選出</li> <li>2. 職員健康診断について</li> <li>3. 年度計画</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職員健康診断 4/27（金） 各部署への問診票の配布手伝い。</li> <li>○年度計画 4月 職員健診・腰痛健診 10月 腰痛・深夜健診 ストレスチェック 12月 職員インフルエンザ予防接種 ・昨年同様、ストレスチェックを行う前に外部講師を招き、メンタルヘルス研修会を職員会にて実施する。 ・インフルエンザの流行状況を把握しながら早期の接種を検討していく。</li> </ul>
5/30	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安全衛生に関する基本知識</li> <li>2. 職場内の安全衛生について</li> <li>3. 腰痛予防について</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全衛生委員会の目的</li> <li>○6月～施設内外の大規模工事に伴う注意喚起。</li> <li>○各部署より施設内外の危険個所の洗い出し等。</li> <li>○腰痛予防のためのラジオ体操の実施状況把握と対応。</li> </ul>

6/12	<p>1. 健康診断結果について 2. 熱中症対策について 3. 腰痛予防について</p>	<p>○健康診断結果と二次検診について (腰痛検査を含む) ○入浴介助における熱中症予防 麦茶補給など。 ○メンタルヘルス研修についての 講師、及び日時確認。 ○腰痛予防のためのラジオ体操の参 加の声掛け。</p>
7/30	<p>1. メンタルヘルス研修について 2. 深夜 腰痛検診について 3. ストレスチェックについて</p>	<p>○メンタルヘルス研修のテーマの洗 い出しと日時について 職員へテーマ、日時希望聞き取り。 ○深夜 腰痛検診の日時確認。 ○腰痛予防のためのラジオ体操の参 加の声掛け。</p>
8/30	<p>1. メンタルヘルス研修について 2. 職場内の安全と環境について</p>	<p>○メンタルヘルス研修については 9月の職員会で実施。 ① 9/14(金) 18:00~19:00 ② " 19:00~20:00 ③ 9/18(火) 14:00~15:00 ○職場内の安全と環境 ・喫煙所からの受動喫煙のリスク ・冬期間、駐車場へ降りる階段の危険 ・外階段傍のマンホールのひび割れ ○腰痛予防のためのラジオ体操の参 加の声掛け。</p>
9/26	<p>1. メンタルヘルス研修反省 2. ストレスチェック制度</p>	<p>○メンタルヘルス研修の反省 ・日程の回数が少なく参加の日程調整 が困難だった。 ・テーマ複数化などの希望 ○実施について確認。 ○腰痛予防のためのラジオ体操の参 加の声掛け。</p>
10/30	<p>1. ストレスチェック制度 2. 平成30年度事業振り</p>	<p>○ストレスチェック配布物準備 ○別紙資料にて平成30年度事業振り 返りを施行。 ○メンタルヘルス研修、参加者募集</p>
11/20	<p>1. 職員インフルエンザ予防接種につ いて 2. 職場内安全衛生について 3. 腰痛予防について</p>	<p>○インフルエンザ実施予定日等の お知らせ等 職員掲示板に希望表掲示。 各自で希望日の記入を依頼。 ○感染症委員会に準じ2月1日より、</p>

		<p>職員検温を開始。委員より実施の声掛け。風邪やインフルエンザ蔓延予防の喚起の声掛け。</p> <p>○職場内安全衛生について 路面凍結に伴い、駐車場の除雪、外階段の除雪等について確認。 居宅事務所玄関夕方は照明がなく危険な状況。</p> <p>○腰痛予防のためのラジオ体操の参加の声掛け。</p>
12/4	<p>1. 健診・ストレスチェックについて</p> <p>2. インフルエンザ予防について</p> <p>3. 腰痛予防について</p>	<p>○夜間健診と腰痛健診の結果配布 ※再検査の必要な方は7名。 *『高ストレス者』医師との面接可。</p> <p>○検温、うがい、手洗い遂行。 マスク着用。(注意喚起)</p> <p>○路面凍結に伴う敷地内の危険個所の確認。</p> <p>○腰痛予防のためのラジオ体操の参加の声掛け。</p>
H31. 1/21	<p>1. 職員インフルエンザ予防について</p> <p>2. 降雪に伴う職場内の状況について</p> <p>3. 腰痛予防について</p>	<p>○検温、うがい、手洗い遂行。 マスク着用。(注意喚起)</p> <p>○インフルエンザ予防薬の販売の取りまとめ等の伝達。</p> <p>○路面凍結に伴う敷地内の危険個所の確認。</p> <p>○腰痛予防のためのラジオ体操の参加の声掛け。</p>
2/25	<p>1. 職員インフルエンザ予防について</p> <p>2. 降雪に伴う職場内の状況について</p> <p>3. 腰痛予防について</p> <p>4. その他</p>	<p>○検温、うがい、手洗い遂行。 マスク着用。(注意喚起)</p> <p>○インフルエンザ予防薬の販売の取りまとめ等の伝達。</p> <p>○路面凍結に伴う敷地内の危険個所の確認。</p> <p>○腰痛予防のためのラジオ体操の参加の声掛け。</p> <p>○H31年度腰痛健診について 実施についての連絡。変更を含む。</p> <p>○労災の申請1件有り。</p> <p>○H31年度の健康診断について 連絡等。</p>
	1. 職員インフルエンザ予防について	○H31年度 健康診断について

3/27	<p>2. 降雪に伴う職場内の状況について</p> <p>3. 腰痛予防について</p>	<p>H31年度 腰痛検診について 日時等連絡。調整について</p> <p>○インフルエンザ等、感染症状況 *検温は3月末までとする。 予防医療委員会に準じる。</p> <p>○職場内環境について 危険個所確認。注意喚起。</p> <p>○腰痛予防のためのラジオ体操の参加の声掛け。</p>
------	--	---

■その他

今年度の活動の振り返り

- ・目標の1つであった腰痛予防のための『ラジオ体操』の参加率UPを達成。  
職員へのラジオ体操を定着することができた。
- ・職場内の環境安全については、職員からの意見の洗い出しにより外階段傍のマンホールのひび割れの修理をはじめ、定期的に危険個所確認、全職員へ注意喚起をすることで事故を防ぐことができた。

■委員長所見

- ・講師を招いての職員会でのメンタルヘルス研修は、前年同様3回に分けて実施したが、全員を対象にアンケートをした結果、テーマの選定や日程調整等、幾つかの課題も見えてきた。  
講演内容は楽しく聞くことができ、自身のメンタルケアに役立てることができたようだ。
- ・目標の1つであった腰痛予防のための『ラジオ体操』の参加率UP、実施を定着することができたことは良かった。

## 六 予防医療（褥瘡ケア・感染症対策）委員会

委員会名	感染症対策委員会	委員長氏名	笠間順子
報告書作成者	笠間順子	作成日	平成31年4月29日

■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30.5.16	1年間の計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長、副委員長選出</li> <li>・年度計画</li> <li>・感染症対策</li> <li>・褥瘡ケアマネジメント</li> </ul>
H30.6.20	褥瘡マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ月毎に評価 (ケア計画書PC化後実施)</li> </ul>
H30.9.12	疥癬疑い者対応(1名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1W静養室隔離で要観察</li> <li>・他入所者の皮膚状態要チェック</li> </ul>

H30. 9. 18	①疥癬疑い者対応(1名) ②デイ利用者疥癬疑い者経過(1名)	①隔離解除 ②9/18皮膚科受診 疥癬(-) 1W後再診にてそれまでデイ利用中止
H30. 9. 27	①10月勉強会 ②感染症対策 ③褥瘡ケアマネジメント進捗状況 ④その他	①テーマ: インフルエンザに関するもの ②疥癬発症施設あり(町立HP・多生苑・ケアテル)利用者注意! ③PC化になり8月より実施中 ④・インフルエンザ予防薬について ・12/1~全員検温予定 ・床暖開始後加湿開始予定
H30. 12. 25	第2回感染症勉強会開催について	・1月職員会(25・28・29)で実施する テーマ: ノロウイルスに関する内容で →汚物処理BOX使用法はいないで実施する
H31. 1. 20	インフルエンザA(2名)の対応	・隔離対策
H31. 1. 21	インフルエンザグレー(2名)の対応	・準隔離(1/25迄) ・予防投与(入所者希望者のみ)
H31. 1. 25	インフルエンザA隔離者経過と対応 インフルエンザグレー(1名)の対応	・隔離解除(1/26・27) ・隔離、検査陰性で解除
H31. 1. 29	インフルエンザA隔離者1名微熱継続	・隔離解除延期(1/27→30へ)
H31. 2. 2	インフルエンザA発症(デイ職員1名)	・職員休み ・感染症対策
H31. 2. 12	インフルエンザA発症デイ職員復帰	・他発症者なく感染症予防対策強化
H31・3・6	ノロウイルス職員Fa発症(デイ1名)	・職員ノロウイルス検査提出(江東微研) (+)→出勤停止 (-)→出勤可だが制限あり
H31. 3. 11	短時間でのノロウイルス検査法について	・ノロウイルス検査キット <sup>®</sup> 使用法(15分) ・デイ同職員Fa新たにノロ発症にてキット <sup>®</sup> 検査実施
H31. 3. 26	今年度の振り返り	・勉強会(6月、12月開催で) ・褥瘡ケアマネジメント実施継続 ・感染対策について

■事業報告または計画の進捗状況

○: 報告 △: 計画	○ 実施。
①事業名	褥瘡ケアマネジメント
②事業目的	褥瘡予防

③実施日時	いなわしろホーム入所生活空間
④実施場所・会場	褥瘡ケアマネジメント計画作成
⑤事業内容	3ヶ月毎に評価
⑥実施プログラム	全職員
⑦参加人数	ケア計画書作成実施
⑧事業目的の達成点	PC化になり多職種での取り組みがスムーズになった
⑨事業目的の未達成点	—
⑩実施上の問題点	—
⑪次回への引継ぎ事項	継続実施

### ■その他

- ・感染症勉強会実施に向けて計画する（最低2回）  
→10月、1月職員会に実施し周知が図れた。いなけん実施は参加者が少なかった。  
5分の短時間の為内容の充実性は図れない。

### ■委員長所見

- ・インフルエンザ発症があったが随時委員会開催で対策が図れ集団発生にならず良かった。今後も早めの対応で対応していきたい。
- ・褥瘡ケアマネジメントの取組みが始まり個別の予防ケアの充実を図っているが入院や持ち込みによる重症化の褥瘡が3件あり治癒1件、治療中2件で悪化はみられない。ケアマネジメントを生かしながら治癒に向け取り組んでいく。

## 七 給食委員会

委員会名	給食委員会	委員長氏名	渡部佐知子
報告書作成者	小坂橋栄子	作成日	平成31年4月29日

### ■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30.4.30	① 委員長選出 ② 年間予定 ③ その他	委員長選出：昨年と同じ 食堂場所変更の確認 身だしなみの確認
5.17	① 行事予定 ② 非常食について ③ 食中毒及び食器に嘔吐時対応	5年保存水の購入 食器に嘔吐された時の対応確認
7.17	① 行事予定 ② 夏祭りについて ③ 研修に参加して	夏祭り縮小して開催 老施協全国大会より復命
9.25	① 行事予定 ② 食器購入について	食器注文済み 2階での炊飯の方法検討

	③ 2階での炊飯について	
12.20	① 行事予定 ② もち米寄贈について	もち米を寄贈頂いたので活用方法を検討
H31.2.26	① 行事予定 ② 今年度の反省	今年度の反省

■事業報告または計画の進捗状況

おおむね計画通り

■委員長所見

各棟に委員会の方が、所属していない為、なかなか現場の意見を上手く聞き取ることができなかつたので、今後は事前に各フロア内の会議時に意見を聞いて頂き、給食委員会時に反映出来ればと思います。

## 八 研修委員会

委員会名	研修委員会	委員長氏名	芦沢大和
報告書作成者	芦沢大和	作成日	平成31年4月1日

■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30.10.2	・ユニット視察研修 ・事前勉強会 ・いなけん振り返り（フォーレ留意点、ユニットケアの必要性）	各施設に訪問する前にユニットケアについての勉強会を開催する。ユニットリーダー研修に出席した職員に講師を依頼し、4回開催する。
11.23	・ユニットケア視察振り返り ・いなけん振り返り（誤薬について、感染物の処理）	視察研修を経て行動変容・成果はあまり得られなかった。研修ニーズの把握や、研修の手法や振り返りに改善が必要。
12.14	・職場研修担当者研修会について ・いなけん振り返り（スキンテア、看取りの振り返り）	いなけん参加が難しいフロアがあるため、各フロアで開催するなどの改善案を出す。
1.24	・未来人材会議について ・いなけん振り返り（水分トロミについて）	新任職員の成果発表、「ユニットケア視察研修報告を行う。（未来プラン委員会と協力） 納棺実演などを通してエンゼルケアの知識を深める。
2.20	・来年度活動について	研修で学んだ事を今後の研修委員

	・いなけん振り返り(エンゼルケア)	会活動の改善に繋げる。
3. 2 1	・研修報告 ・一年の振り返り	委員会活動の改善点を話し合う。 いなけん参加者の偏りが見られる。互いに教え合う職場風土を目指すため、OFF-JTのいなけんをOJTにできるよう取り組む。(来年度目標)

## ■事業報告または計画の進捗状況

### 1. ユニット型施設視察研修

○：報告 △：計画	○	
①事業名	ユニット型施設視察研修	
②事業目的	24時間シート等の基本的知識は把握しているが、ユニットケアの具体的なイメージを持っていない現状がある為、実際に視察することでスタッフのイメージの統一化を図る。	
③実施日時	10/9 10/16 10/23 10/30	
④実施場所・会場	ラスール坂下 みどりの郷	
⑤事業内容	ユニットケアの事態を知ること、より具体的なイメージを持つことが出来る。事前に質問内容を通達し、よりユニットケアについて理解を深められるようにする。可能であれば撮影をし報告会に活用する。各班ごとに振り返り反省会を行い下期に全職員に向けた報告会を開催する。	
⑥実施プログラム	最もユニットケアの特色が見られる、朝方に訪問する。 概要説明等をしないため、参加者には事前勉強会を行い、ユニットケアの必要性を把握してから臨む。	
⑦参加人数	16名	
⑧事業目的の達成点	実際にユニットケアの流れを見ることができた。	
⑨事業目的の未達成点	予定していた流れで研修が進まず、研修施設との情報共有ができていなかった。各班の実施後の振り返り報告が曖昧になってしまい、次に繋がる報告にならなかった。委員会側で処置・フォローができず成果に繋げることができなかった。行動変容は見られなかった。	
⑩実施上の問題点	-	
⑪次回への引継ぎ事項	研修ニーズの把握。処置・フォローに重点を置く。	

## ■その他

特になし

## ■委員長所見

施設外への研修もあるため、職員の理解を得られるようにしていきたい。多くの職員の協力の基成り立っていることを忘れずに今後も活動していきたい。

また、いなけん開催の頻度が上がり、職場風土に溶け込んで行っているように感じる。今後も継続して開催していきたい。

## 九 広報委員会

委員会名	広報委員会	委員長氏名	林田まり絵
報告書作成者	林田まり絵	作成日	平成31年4月30日

### ■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30. 5. 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員長選出</li> <li>○年間計画について</li> <li>○平成30年度機関紙について</li> <li>○その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員長選出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長：林田まり絵</li> <li>・副委員長：杉本美樹</li> </ul> </li> <li>○年間計画：別紙カレンダー参照</li> <li>○平成30年度機関紙について <ul style="list-style-type: none"> <li>①発行回数：季刊年4回</li> <li>②様式：A4×4枚綴り</li> <li>③発行部数：4,550部</li> <li>④外注業者：北斗印刷(株)</li> <li>⑤構成方法：委員</li> </ul> </li> <li>○その他 委員会内での勉強会、スタッフブログ等について。</li> </ul>
6. 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機関紙第94号（夏）の掲載内容と担当について</li> <li>○今後の予定</li> </ul>	《第94号主な内容》 運動会、手持ち花火大会他
7. 13	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機関紙第94号（夏）の校正</li> <li>○今後の予定</li> </ul>	内容の検討他
9. 23	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページ内スタッフブログの更新について（勉強会）</li> <li>○機関紙第95号（秋）の掲載内容について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○勉強会：ホームページの更新方法について、他施設のホームページ閲覧。</li> </ul> 《第95号主な内容》 敬老会他
H31. 3. 15	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機関紙第97号（春）の掲載内容</li> </ul>	《第95号主な内容》

	について	ひなまつり、事業計画他
--	------	-------------

■事業報告または計画の進捗状況

1. 広報勉強会

○：報告 △：計画	○	実施。
①事業名	広報勉強会	
②事業目的	他施設の広報活動より情報収集し、ホームの広報活動に役立てる。	
③実施日時	平成30年9月23日	
④実施場所・会場	施設内。	
⑤事業内容	法人ホームページの内容確認。スタッフブログの更新方法の周知。他施設の機関紙との比較からホームの機関紙の長所・短所を把握する。	
⑥実施プログラム	-	
⑦参加人数	広報委員会委員5名。	
⑧事業目的の達成点	-	
⑨事業目的の未達成点	-	
⑩実施上の問題点	-	
⑪次回への引継ぎ事項	-	

2. 機関誌「白鳥」発行

○：報告 △：計画	○	継続実施。
①事業名	機関紙「白鳥」発行	
②事業目的	地域における法人事業活動の理解促進。	
③実施日時	季刊（4回）。	
④実施場所・会場	施設内。	
⑤事業内容	機関誌の発行。	
⑥実施プログラム	法人の取り組み、施設生活等の紹介。	
⑦参加人数	広報委員会委員。	
⑧事業目的の達成点	第93号（春）平成30年5月8日発行。第94号（夏）8月26日発行。第95号（秋）12月2日発行。第96号（冬）平成31年1月27日発行。	
⑨事業目的の未達成点	-	
⑩実施上の問題点	-	
⑪次回への引継ぎ事項	-	

3. スタッフブログの更新

○：報告 △：計画	△	
①事業名	スタッフブログの更新	
②事業目的	法人事業活動の広域的な理解促進。	
③実施日時	随時。	
④実施場所・会場	施設内。	
⑤事業内容	当法人ホームページ内スタッフブログの更新。	

⑥実施プログラム	法人の取り組み、施設生活等の紹介。
⑦参加人数	広報委員会委員。
⑧事業目的の達成点	-
⑨事業目的の未達成点	-
⑩実施上の問題点	-
⑪次回への引継ぎ事項	-

■その他  
特になし。

■委員長所見

今年度は機関紙の発行に加え、広報勉強会やスタッフブログの更新等例年に比べ充実した活動ができた。次年度はより法人の魅力を外部へ伝えられるよう勉強会等を通して委員のスキルアップに力を入れたい。

## 十 行事委員会

委員会名	行事委員会	委員長氏名	辰野秀彰
報告書作成者	辰野秀彰	作成日	平成31年4月30日

■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30.4.20	①委員長選出 ②お花見ドライブについて ③運動会について ④夏祭りについて	①委員長に辰野秀彰、副委員長に鈴木美緒、山本翼が就任。 ②お花見ドライブは各フロアに一任。 ③プログラムは辰野、鈴木が作成。リズム体操は山本が担当。家族参加の出欠は、月末に配布。6月1週目に人数確認予定。 ④スパイス企画との打合せは、6月21日予定。
5.11	①運動会代替え案について ②夏祭りについて	①運動会中止の為、各棟に代替案を募る。 ②今年度もスパイス企画に設営を依頼。余興の人員確保を進める。
6.4	①運動会代替え案について ②夏祭りについて	①各棟でミニゲーム大会の開催を検討。

	③七夕について	②8月2日に実施予定。 ③準備は長谷川康夫介護員に依頼 その他に人口笹の購入検討。
6. 26	①手持ち花火について	①7月19日19:10から実施。 ・プログラムは辰野委員長を中心に作成。 ・家族出欠は7月第1週に確定。 ・工事の都合上、スペースが狭い為、開催場所を、正面玄関とピロティ前の二つに分けて行う。
7. 20	①夏祭り最終打ち合わせ ②プログラム配布	・家族参加66名、ボランティア34名参加予定。 ・当日日勤職員は河川敷仮設駐車場、早番者・夜勤者は指定の場所に駐車。 ・司会者、余興の内容の確認。 ・プログラムを各部署へ配布。
8. 17	①夏まつりについて振り返り ②敬老会について	①各フロアへ配ったアンケートを確認し振り返る。 ②家族参加人数とボランティア人数の把握。 ・駐車場の確認。 ・敬老会の流れ、タイムスケジュールを辰野が作成。
10. 25	①紅葉狩りについて ②クリスマス会について ③餅つき大会	①10月22日から11月3日で予定各フロアで日程と参加利用者様を選んでもらい行う。 ②さくらこども園様に参加を依頼。FAは不参加の予定。 プレゼントの注文 ③餅つき大会はFA参加 事務所へ参加人数の確認を早めに行う。 利用者様へプレゼントのアンケートを配る。
11. 15	①餅つき大会について ②クリスマス会について	①餅つき大会 12月15日 (木) 10:30~12:00 家族参加(有) 各棟にプレゼント用アンケート配布 11月25締切・算500円以内 家族出席確認→11月28日発送の定期便にて餅つき会の出欠を確認

		<p>12月5日ㄨ</p> <p>12月9日に各棟に会食座席表の配布・その他 職員グリーンジャケット着用</p> <p>②慰問と同じような形で進めていく</p> <p>幼稚園へ内容の確認→鈴木</p>
12.11	<p>①餅つき会</p> <p>②その他</p>	<p>①・神田壮より臼と杵を借用（12月14日借りに行く）。</p> <p>・行事委員、リハビリ、総務課職員を中心に会場設営する。</p> <p>・机等は、リハビリスペース、静養室に置く。椅子50脚を後方に並べる。Fa48名。</p> <p>・施設長不在の為、一ノ瀬副施設長より挨拶頂く。</p> <p>・各フロアで、餅つきができる利用者さん6名ほど選出。</p> <p>Fa代表に万歳三唱をお願いする。</p> <p>・12:15から会食。</p> <p>②際の神で使用する藁を1月12日にもらいに行く。</p> <p>倉庫内の大掃除を行う。いらない物は、際の神の時に燃やすようにする。</p>
H31.1.2	<p>①団子刺し</p> <p>②歳の神について</p>	<p>①例年通り挿し木を調達しフロア毎に行う。フロアに飾る。</p> <p>②例年通り職員駐車場にて行う。</p>
1.30	<p>①豆まきについて</p>	<p>日時 10:30~11:00 ななかまど ショートステイフロア</p> <p>鬼役 小坂橋尚 進行 辰野秀彰 14:30~15:30 デイサービス 二階 なでしこ</p> <p>鬼役 山本翼 進行 鈴木美緒</p> <p>■内容 鬼1名 付添 1名 フロアにまわり豆を投げてもらおう。その際施設長に挨拶をお願いする。</p> <p>※業務に支障が出ない様に鬼役の</p>

		人は他フロアに協力を仰ぐ。
2. 22	①雛飾りについて ②倉庫整理	①今回はさくら棟寮母室前に雛飾りを行い。各フロアからみに来てもらう形にする。 ②ケースの購入を早めに行う。

## 1. 運動会

○：報告 △：計画	-	工事のため中止。
①事業名	運動会	
②事業目的	利用者の意欲ならびにQOL向上。	
③実施日時	平成30年6月16日。	
④実施場所・会場	いなわしろホーム正面駐車場。	
⑤事業内容	運動会。	
⑥実施プログラム	・リズム体操 ・手っ取り早くゴール ・面白おかしく宝をゲット ・玉入れ ・鈴割り	
⑦参加人数	特別養護老人ホーム・ショートステイ利用者・家族、全職員、役員等。	
⑧事業目的の達成点	-	
⑨事業目的の未達成点	-	
⑩実施上の問題点	-	
⑪次回への引継ぎ事項	-	

## 2. 手持ち花火大会

○：報告 △：計画	○	-
①事業名	手持ち花火大会	
②事業目的	利用者の意欲ならびにQOL向上。季節感の体感。	
③実施日時	平成30年7月19日。	
④実施場所・会場	いなわしろホーム正面駐車場。	
⑤事業内容	手持ち花火大会。	
⑥実施プログラム	①手持ち花火	
⑦参加人数	特別養護老人ホーム・ショートステイ利用者・家族34名、全職員。	
⑧事業目的の達成点	工事の都合上一階フロアと二階フロアで場所を分けて行ったが、事故なく、実施することが出来た。	
⑨事業目的の未達成点	誘導に時間がかかってしまった。	
⑩実施上の問題点	・ピロティ前で行う際はスペースが狭く煙がこもる為、今後使用する際は対策が必要。	
⑪次回への引継ぎ事項	・駐車場場所の早めの伝達	

### 3. 夏まつり

○：報告 △：計画	○
①事業名	夏まつり
②事業目的	利用者の意欲ならびにQOL向上。季節感の体感。
③実施日時	平成30年8月2日。
④実施場所・会場	いなわしろホーム正面駐車場。
⑤事業内容	夏まつり。
⑥実施プログラム	・開会・リズム体操・職員余興・盆踊り・お楽しみ抽選会・打上花火 ・閉会
⑦参加人数	利用者97名、来賓0名、ボランティア34名、利用者家族55名、全職員。
⑧事業目的の達成点	事故なく、プログラム通り実施できた。
⑨事業目的の未達成点	・工事の都合上、例年とは違う設営の配置を行っていたが、移動スペースが狭く盆踊りの際にぶつかりそうで危険だった。 (離床者配置の適切なスペース確保の不十分さなど) ・当日のイレギュラー対応が不十分であった。 ・プログラムの内容が職員(ボランティアの方)に伝達不足だった。
⑩実施上の問題点	・プログラムの配布を早めにする。 ・スペースが狭い中での夏祭りは困難なため、室内での実施を検討。
⑪次回への引継ぎ事項	・会場案内図の設置を検討。 ・準備物の用意。 ・各方面への事前連絡、協力要請の強化。

### 4. 敬老会

○：報告 △：計画	○
①事業名	敬老会
②事業目的	長寿の祝い。
③実施日時	平成30年9月15日。
④実施場所・会場	特別養護老人ホーム食堂。
⑤事業内容	敬老行事。
⑥実施プログラム	①敬老会(猪苗代町や施設、家族会からの記念品、プレゼント贈呈) ②猪苗代町婦人連絡協議会によるアトラクション
⑦参加人数	利用者98名。
⑧事業目的の達成点	・利用者喜ばれ、事故なく実施できた。 ・事前に各フロアリーダーへシフト調整を依頼し、余裕を持ったシフトで行うことが出来た。
⑨事業目的の未達成点	・準備物が不十分であった。
⑩実施上の問題点	・食堂のスペースが狭く、誘導が困難だった。 ・開催前に準備物の確認が必要。
⑪次回への引継ぎ事項	・式次第の早めの作成。 ・駐車場場所、の早めの伝達。

	・各フロアリーダーへのシフトの調整の事前依頼。
--	-------------------------

## 5. もちつき会

○：報告 △：計画	○	-
①事業名	もちつきクリスマス会	
②事業目的	季節の行事を家族と祝う。	
③実施日時	平成3012月21日。	
④実施場所・会場	特別養護老人ホーム食堂。	
⑤事業内容	もちつき行事。	
⑥実施プログラム	施設から利用者へのクリスマスプレゼント。 家族会協力によるもちつきと会食。	
⑦参加人数	特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービス利用者、全職員。	
⑧事業目的の達成点	・用者様また家族の方も喜んで参加されていた。事故なく行うことが出来た。	
⑨事業目的の未達成点	-	
⑩実施上の問題点	実際に餅を扱う為、異食行為等には、注意を払って行う必要がある。	
⑪次回への引継ぎ事項	プレゼントの注文は早めに行い不備がないかチェックする。	

## 6. 歳の神

○：報告 △：計画	○	-
①事業名	歳の神	
②事業目的	季節行事への参加	
③実施日時	平成30年1月15日。	
④実施場所・会場	食堂および職員駐車場	
⑤事業内容	歳の神の焚き上げを見学する。	
⑥実施プログラム	駐車場にて焚き上げを行う。利用者様はホームの窓より見学する。	
⑦参加人数	特別養護老人ホーム・ショートステイ利用者、全職員	
⑧事業目的の達成点	利用者様楽しそうに歳の神の火をご覧になっていました。	
⑨事業目的の未達成点	-	
⑩実施上の問題点	-	
⑪次回への引継ぎ事項	歳の神は準備が多い為協力を仰ぐ。	

## 7. 豆まき会

○：報告 △：計画	○	
①事業名	豆まき会	
②事業目的	ご家族との触れ合いの場を作る。	
③実施日時	平成30年2月1日。	
④実施場所・会場	各棟	
⑤事業内容	節分行事。	
⑥実施プログラム	各フロアにて行事委員と利用者様が豆まきを行う。	

⑦参加人数	特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービス利用者、全職員。
⑧事業目的の達成点	利用者様喜ばれ、事故なく実施できた。
⑨事業目的の未達成点	-
⑩実施上の問題点	勤務職員の人数が少なく鬼役で行事委員がいなくなると見守りが少なくなってしまう。
⑪次回への引継ぎ事項	鬼役を各フロアで出して貰ってもいいのではないか

#### ■その他

特になし。

#### ■委員長所見

今年は施設工事があり、例年よりも正面玄関前のスペースが狭かったため、規模を小さくし実施した。室内での実施を検討してもよかったと思われる。規模は小さかったが昨年度よりも充実した行事が行えたように感じる。行物品が増えた為、次年度では、倉庫の整理を行い出し入れのしやすいようにした方が良いと感じた。

このを基に次年度では余裕を持って行事に取り組めるようにしたい。

## 十一 施設物品管理委員会

委員会名	施設物品管理委員会	委員長氏名	菅沼美香
報告書作成者	菅沼美香	作成日	平成31年4月1日

#### ■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30. 4. 24	グレイチング設置 (シルバーさん依頼) 粗大ごみ回収	
H30. 5. 24	年間計画 委員会	委員長、副委員長の選出
5. 24	日常物品の管理・購入 文書保管庫の整理 9/4 職員ユニホーム購入にむけ 災害時スタッフ着用検討 災害用物品入れ替え 7/3 倉庫1整理 9/4	物品購入の注意事項 粗大ごみ回収の期日・場所 車イス修理
6. 26	文書整理日時 ユニホーム購入	7月5日に文書整理実施予定 ※居宅介護支援領域に実地指導が入るため文書整理延期。

9. 4	文書整理 ユニホームサンプル取り寄せ	処分文書、保管文書の整理
10. 10	委員会 粗大ごみ回収 10/26	色・形の決定 日時指定
11.6	永久保存書類整理	大竹さん依頼
31.1	ユニホーム配布	ユニホーム配布、捺印確認

■事業報告または計画の進捗状況

特になし。

■その他

会議を開いても参集できないことが多く意見が聞くことができない。

■委員長所見

勤務時間の中で会議を持つことが難しい。

施設備品も老朽化が見られる。安全に使用するために新しい物が必要かと思われる。

## 十二 地域貢献推進委員会

委員会名	地域貢献推進委員会	委員長氏名	鈴木香
報告書作成者	鈴木香	作成日	平成31年4月1日

■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30.4.23	1 委員長選出 2 委員会の目的等 3 平成30年度事業計画 4 その他	1 委員長選出 2 委員会の目的等 3 平成30年度事業計画策定 ・第3回地域ふれあい事業9月 ・ミニ地域ふれあい事業8～9月 4 その他 役割分担
H30.5.14	1 各進捗状況 2 今後の予定	1 各分担毎の進捗を確認 2 ミニふれあい事業、地域ふれあい事業の今後の分担
H30.6.15	7/23(月)ミニふれあい事業の内容について	1 出席メンバー・内容の協議

H30.6.28	1 今年度の事業計画説明 2 7/23 ミニふれあい事業について 3 9/18 第3回地域ふれあい事業について	運営協議委員参加し事業の説明と意見交換
H30.7.23	ミニふれあい事業	
H30.7.30	1 ミニふれあい事業振り返り 2 地域ふれあい事業について	反省と確認
H30.8.20	1 ミニふれあい事業の反省 2 第3回地域ふれあい事業について	運営協議委員参加。バス送迎、ポスター、チラシの配布先など協議
H30.9.18	第3回地域ふれあい事業	
H30.10.31	1 第3回地域ふれあい事業の反省	運営協議会参加。事業の反省を行う
H31.3.30	在宅・長期家族説明会参加	ミニふれあい事業を行い、地域ふれあい事業のPRを行う

## ■事業報告または計画の進捗状況

### 1. ミニ地域ふれあい事業

○：報告 △：計画	○	
①事業名	町社協主催による生活支援体制整備事業への講師派遣	
②事業目的	地域福祉の増進に寄与とともに当法人の有意性をアピールする。	
③実施日時	平成30年7月23日（月）10：30～12：00	
④実施場所・会場	農村環境改善センター	
⑤事業内容	耐圧分散機体験・血圧測定・増粘剤を使用した水分の提供	
⑥実施プログラム	各ブースを体験してもらう。地域ふれあい事業のPRをする。	
⑦参加人数	約20	
⑧事業目的の達成点		
⑨事業目的の未達成点		
⑩実施上の問題点		
⑪次回への引継ぎ事項	念入りな打ち合わせを行う。	

### 2. 地域ふれあい事業

○：報告 △：計画	○	
①事業名	第3回地域ふれあい事業	
②事業目的	地域福祉の増進に寄与とともに当法人の有意性をアピールする。	
③実施日時	平成30年9月18日（火）10：00～12：00	
④実施場所・会場	農村環境改善センター	
⑤事業内容	基調講演と体験型ブースの展示 事業所ごとに個性を出し、体験してもらう。	
⑥実施プログラム	①開会式②基調講演③ブース体験	

⑦参加人数	約 37 名。
⑧事業目的の達成点	プログラム通りに実施。
⑨事業目的の未達成点	内容の割に時間が短すぎるなどの反省点あり。
⑩実施上の問題点	
⑪次回への引継ぎ事項	

### 3. 地域ふれあい事業における意見交換会

○：報告 △：計画	○
①事業名	地域ふれあい事業における意見交換会
②事業目的	法人の運営推進委員会に地域ふれあい事業について意見を求める
③実施日時	平成30年6月18日 10:00～12:00 8月20日 14:00～14:30 10月31日 14:00～14:30
④実施場所・会場	会議室
⑤事業内容	地域ふれあい事業をより地域ニーズに答えた形とする為、地域の声として運営推進委員会の意見をきき、検討する。
⑥実施プログラム	1回目 事業計画とミニふれあい事業の開催 2回目 ミニふれあい事業の報告と地域ふれあい事業の検討 3回目 地域ふれあい事業の反省
⑦参加人数	約 6 名。
⑧事業目的の達成点	宣伝場所の発案、バスの送迎などの意見を頂く。意見で上がったものを検討し、実施。
⑨事業目的の未達成点	・会議時間が予定よりオーバーしてしまう。
⑩実施上の問題点	
⑪次回への引継ぎ事項	時間と内容等、会議短縮の検討が必要。

### 4. 家族説明会への参加

○：報告 △：計画	○
①事業名	在宅サービス、長期家族説明会
②事業目的	地域ふれあい事業のPRと
③実施日時	平成31年3月30日（土）14:00～16:00
④実施場所・会場	DS 静養室
⑤事業内容	地域ふれあい事業をより地域ニーズに答えた形とする為、地域の声として運営推進委員会の意見をきき、検討する。
⑥実施プログラム	1回目 事業計画とミニふれあい事業の開催 2回目 ミニふれあい事業の報告と地域ふれあい事業の検討 3回目 地域ふれあい事業の反省
⑦参加人数	約 6 名。
⑧事業目的の達成点	プログラム通りに実施。宣伝場所の発案、バスの送迎など意見を頂く
⑨事業目的の未達成点	

⑩実施上の問題点	
⑪次回への引継ぎ事項	

■その他  
特になし

■委員長所見

準備に時間がかかるが、地域交流できる貴重な場である。今後も多職種参加し、事業を続けていく。ミニふれあい事業では地域サロンへの参加は活動が決まってしまっており、できなかった。一人暮らしの方の食事会などへの参加も検討していきたい。

### 十三 防災委員会

委員会名	防災委員会	委員長氏名	長田学
報告書作成者	長田学	作成日	平成31年4月28日

■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30. 10. 31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施。</li> <li>・本日の避難訓練の反省。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の避難訓練の反省</li> <li>・来月の防災委員会の予定決め。</li> </ul>
11. 30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施。</li> <li>・本日の避難訓練の反省。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の避難訓練の反省</li> <li>・来月の防災委員会の予定決め。</li> </ul>
12. 28	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施。</li> <li>・本日の避難訓練の反省。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の避難訓練の反省</li> <li>・来月の防災委員会の予定決め。</li> </ul>
H31. 1. 29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施。</li> <li>・本日の避難訓練の反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の避難訓練の反省</li> <li>・来月の防災委員会の予定決め。</li> </ul>
2. 25	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施。</li> <li>・本日の避難訓練の反省</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の避難訓練の反省</li> <li>・来月の防災委員会の予定決め。</li> </ul>
3. 27	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練の実施。</li> <li>・本日の避難訓練の反省。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の避難訓練の反省</li> <li>・来月の防災委員会の予定決め。</li> </ul>

■事業報告または計画の進捗状況

1. 避難訓練

○：報告 △：計画	△ 継続実施。
①事業名	避難訓練
②事業目的	非常時における適切な行動の確認。
③実施日時	平成30年10月31日、11月30日、12月28日、平成31年1月29日、2月25日、3月27日 16：00～16：20

④事施場所・会場	特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス。
⑤事業内容	利用者の避難誘導および職員の避難。
⑥事施プログラム	16:00 避難誘導開始 16:20 避難誘導完了
⑦参加人数	全利用者、全職員。
⑧事業目的の達成点	避難誘導は、各事業所概ねスムーズにできていた。
⑨事業目的の未達成点	・避難誘導のスムーズさにばらつきがある。
⑩実施上の問題点	・避難誘導する職員の人数が確保できない。 ・利用者によっては徘徊や介護拒否がありスムーズに行動できない。
⑪次回への引継ぎ事項	・避難誘導する人員が十分に確保できない日時を把握しておく。

■その他  
特になし。

■委員長所見  
業務と委員会の両立が難しく、会議開催についても勤務や業務の都合で委員が集まらないときがある。

## 十四 未来プラン委員会

委員会名	未来プラン委員会	委員長氏名	渡部鐘夫
報告書作成者	福地喜裕	作成日	平成31年4月30日

### ■委員会

開催日	主な協議事項	要点
H30/4/20	委員長の選出、事業計画立案	重点項目の決定
6/8	重点項目の進捗状況確認	進捗状況確認
8/10	重点項目の進捗状況確認	進捗状況確認
10/12	重点項目の進捗状況確認	進捗状況確認
12/7	重点項目の進捗状況確認	進捗状況確認
2/22	重点項目の進捗状況確認	進捗状況確認

### ■事業報告または計画の進捗状況

#### 1. 利用者満足度を高める事業

○：報告 △：計画	○	継続実施。
① 事業名	利用者満足度を高める事業	
② 事業目的	利用者の望む暮らしの実現。	
③実施日時	-	

④実施場所・会場	-
⑤事業内容	ハード・ソフトの充実。
⑥実施プログラム	1) 人権とプライバシーの尊重 プライバシーに配慮した特養多床室改修。 2) 安心安全なサービスの提供 空調機器改修ならびに介護ロボットの活用。 3) 自己実現介護 個別援助計画立案研修実施、ケアマニュアル見直し。
⑦参加人数	-
⑧事業目的の達成点	1) 改修工事施工中 2) 数種類の介護ロボットのデモを受けるが採用には至らず。今後ロボット研修への参加を予定。 3) ケア向上委員会にて計画実施。
⑨事業目的の未達成点	⑧に同じ。
⑩実施上の問題点	-
⑪次回への引継ぎ事項	⑧に同じ。

## 2. 地域福祉を増進する事業

○：報告 △：計画	○	継続実施。
① 事業名	地域福祉を増進する事業	
② 事業目的	誰もが住みやすい地域社会の実現。	
③実施日時	-	
④実施場所・会場	-	
⑤事業内容	社会福祉法人としてゼロベース思考で新たな事業を展開する。	
⑥実施プログラム	1) 地域ニーズの把握と介護予防の取り組み 地域ふれあい事業。 2) セーフティネット 利用者負担軽減制度の情報発信。 3) HAPPYホームいなわしろミニタウン 多角経営（事業所内託児所）、サテライトデイサービス事業。	
⑦参加人数	-	
⑧事業目的の達成点	1) ミニふれあい事業のアンケートでニーズの確認を実施。地域ふれあい事業でも確認を実施。 2) 広報誌にて情報発信済み。（ホームページでは未発信） 3) ニーズの把握の為のアンケートをする予定だったが未実施。	
⑨事業目的の未達成点	⑧に同じ。	
⑩実施上の問題点	-	
⑪次回への引継ぎ事項	⑧に同じ。	

## 3. 職員満足度を高める事業

○：報告 △：計画	○	継続実施。
-----------	---	-------

③ 事業名	職員満足度を高める事業
④ 事業目的	法人の継続的な発展。
③実施日時	-
④実施場所・会場	-
⑤事業内容	働き甲斐のある職場環境を整え、未来人材を育成する。
⑥実施プログラム	1) 未来人材の育成 未来人材会議開催予定。 2) 働き甲斐のある職場づくり（ステークホルダーとの連携） 理事・評議員等との意見交換会。
⑦参加人数	-
⑧事業目的の達成点	1) 2月28日に未来人材会議を開催。 2) 地域ふれあい事業に関連して、運営協議会委員と意見交換会を複数回実施。プリセプター・プリセプティの集いも開催。
⑨事業目的の未達成点	⑧に同じ。
⑩実施上の問題点	-
⑪次回への引継ぎ事項	⑧に同じ。

#### 4. 地域連携や財政健全化に関わる事業

○：報告 △：計画	△	継続実施。
⑤ 事業名	地域連携や財政健全化に関わる事業	
⑥ 事業目的	地域との共生。	
③実施日時	-	
④実施場所・会場	-	
⑤事業内容	ステークホルダーとの連携を進め、財政健全化を図る。	
⑥実施プログラム	1) 法令遵守 コンプライアンス教育	
⑦参加人数	-	
⑧事業目的の達成点	1) 下記についていなければ職員会、内部研修会で実施。 介護保険制度、入所の仕組み、利用契約書、指定基準、加算要件、労働基準法、育児介護休業法等。	
⑨事業目的の未達成点	⑧に同じ。	
⑩実施上の問題点	-	
⑪次回への引継ぎ事項	⑧に同じ。	

#### ■その他

特に無し。

#### ■副委員長所見

各項目に担当者を割り振り、事業を進行したが担当者のモチベーションによって事業の進行にばらつきがあり、殆ど手を付けられない項目もあった。また、難易度の高い項目に対して、個人で進めるということにも問題があると感じられる場面もあった。各項目がスムーズに進めば法人

に対して大きな利益がある事象ばかりであり、次年度は責任の所在や取り組み方に対して工夫をしながら進めていく必要がある。